

東海北陸厚生局長 殿

国立大学法人 名古屋大学  
名古屋大学医学

名古屋大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3. 高度の医療に関する研修の実績 

研修医の人数	31人
--------	-----

 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
- 4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	280人	283人	512.4人	看 護 補 助 者	0人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	9人	27人	23.6人	理 学 療 法 士	17人	臨 床 検 査 技 師	65人
薬 剤 師	62人	1人	62.7人	作 業 療 法 士	5人	衛 生 検 査 技 師	1人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	20人	0人	20.0人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	905人	32人	928.1人	臨 床 工 学 士	21人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	6人
准 看 護 師	1人	1人	1.7人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	24人
歯 科 衛 生 士	2人	0人	2.0人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	225人
管 理 栄 養 士	7人	0人	7.0人	診 療 放 射 線 技 師	53人	そ の 他 の 職 員	4人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たりの平均入院患者数	812.5人	11.9人	824.4人
1日当たりの平均外来患者数	2,276.9人	76.1人	2,353.0人
1日当たりの平均調剤数			1,231.9劑

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱い患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内反復投与療法 胃切除後の進行性胃がん	1人
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法	3人
培養骨髄細胞移植による骨延長術 骨系統疾患	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 特になし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ペーチェット病	58人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	69人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	93人	・原発性胆汁性肝硬変	34人
・全身性エリテマトーデス	174人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	9人	・特発性大腿骨頭壊死症	112人
・再生不良性貧血	63人	・混合性結合組織病	10人
・サルコイドーシス	100人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	49人	・特発性間質性肺炎	6人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	209人	・網膜色素変性症	40人
・特発性血小板減少性紫斑病	81人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	19人	・肺動脈性肺高血圧症	4人
・潰瘍性大腸炎	322人	・神経線維腫症	32人
・大動脈炎症候群	35人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	33人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	22人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	5人
・脊髄小脳変性症	48人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・クローン病	242人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	49人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	5人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患	285人	・球脊髄性筋萎縮症	33人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	27人
・後縦靭帯骨化症	44人	・肥大型心筋症	3人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	54人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	48人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症	32人	・黄色靭帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5人	・間脳下垂体機能障害	118人
		合計	2615人

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	.
乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1及び乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)	.
膀胱水圧拡張術	.
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	.
抗癌剤感受性試験	.
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な2センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。)又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上が不良なもの又はEMRを実施した後に遺残若しくは再発したものであって、EMRでは切除が困難な1センチメートル以上の病変のものに限る。)に係るものに限る。)	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

(注)「施設基準等の種類」欄には業務報告を行う3年前の4月以降に健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供したのものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の 状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。
	<input type="checkbox"/> 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査 部門と開催した症例検討会の開催頻度	脳神経外科・神経内科:神経生理機能検査部門 月9回 血液内科:検体検査部門 月3回, 解剖・病理室 月1回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 22 例 剖検率 5 %

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	道化師様魚鱗癬の治療のための指針の作成と新規治療戦略の開発	秋山 真志	皮膚科	13,000,000 円	厚生労働省
2	本邦における造血細胞移植一元化登録研究システムの確立	熱田 由子	造血細胞移植情報管理・生物統計学(日本造血細胞移植学会)寄附講座	11,557,000 円	厚生労働省
3	新型薬剤耐性菌等に関する研究	荒川 宜親	細菌学	77,350,000 円	厚生労働省
4	CKDの早期発見、予防、治療標準化、進展阻止に関する調査研究	今井 圓裕	腎臓内科	12,610,000 円	厚生労働省
5	歯髄幹細胞の神経分化能の検証とその治療応用	上田 実	口腔外科	39,000,000 円	厚生労働省
6	アルツハイマー病の新規細胞医薬開発に関する臨床応用研究	内村 健治	生物科学	1,678,000 円	厚生労働省
7	間脳下垂体機能障害に関する調査研究	大磯 ユタカ	糖尿病・内分泌内科	67,000,000 円	厚生労働省
8	先天性筋無力症候群の診断・病態・治療法開発研究	大野 欽司	神経遺伝情報	13,000,000 円	厚生労働省
9	高齢者の経口摂取の維持ならびに栄養ケア・マネジメントの活用に関する研究	葛谷 雅文	老年科	11,690,000 円	厚生労働省
10	遺伝性対側性および汎発性色素異常症の本邦における診療実態の把握、治療指針の作成と新治療戦略の開発	河野 通浩	皮膚科	6,500,000 円	厚生労働省
11	先天性角化不全症の効果的診断方法の確立と治療ガイドラインの作成に関する研究	小島 勢二	小児科	13,000,000 円	厚生労働省
12	希少小児遺伝性血液疾患の迅速な原因究明及び診断・治療法の開発に関する研究	小島 勢二	小児科	100,000,000 円	厚生労働省
13	球脊髄性筋萎縮症に対する酢酸リユープロレリンの効果に関する研究	祖父江 元	神経内科	63,472,000 円	厚生労働省
14	治験の実施に関する研究[酢酸リユープロレリン(追加第Ⅱ相試験)]	祖父江 元	神経内科	300,000 円	厚生労働省
15	治験の実施に関する研究(サリドマイド)	祖父江 元	神経内科	1,000,000 円	厚生労働省
16	肺がんの浸潤・転移を抑制可能な分子標的の同定に基づく革新的な治療法の開発	高橋 隆	分子腫瘍学	20,000,000 円	厚生労働省
17	成人難治性白血病におけるバイオマーカーに基づく層別化治療法の確立	直江 知樹	血液内科	19,000,000 円	厚生労働省
18	保健指導等を活用した総合的な糖尿病治療の年代別要因を踏まえた研究	林 登志雄	老年内科	10,000,000 円	厚生労働省
19	進行性腎障害に関する調査研究	松尾 清一	腎臓内科	73,000,000 円	厚生労働省
20	治験の実施に関する研究(頭蓋内動脈狭窄性病変治療用ステント)	宮地 茂	脳神経外科学	2,200,000 円	厚生労働省
21	敗血症病態に合併する蛋白異化病態の分子生化学的解明と遺伝子治療の開発	松田 直之	救急医学	15,210,000 円	日本学術振興会
22	高齢者の運動機能評価の長期継続的研究と運動機能向上に関する介入プログラムの開発	長谷川 幸治	整形外科	3,120,000 円	日本学術振興会
23	脳深部刺激術を支援する新しい画像誘導・電気生理学的ナビゲーションシステムの開発	梶田 泰一	脳神経外科	3,510,000 円	日本学術振興会
24	マイクロfluidクスによる循環血液癌細胞検出法の開発と癌転移機構の解析	長谷川 好規	呼吸器内科	4,550,000 円	日本学術振興会
25	小児再生不良性貧血の造血障害メカニズム—制御性T細胞の関与	小島 勢二	小児科	3,770,000 円	日本学術振興会
26	悪性脳腫瘍の根治に向けたエピジェネティクスによるリプログラミング創薬の開発	夏目 敦至	脳神経外科	2,730,000 円	日本学術振興会
27	バイオリアクターを用いた骨形成促進治療の研究—臨床使用可能な器材の開発—	石黒 直樹	整形外科	5,070,000 円	日本学術振興会
28	乳歯・永久歯由来幹細胞バンクの有用性の検討と難治性疾患に対する再生治療研究	上田 実	口腔外科	3,250,000 円	日本学術振興会
29	サルコペニア(老化に伴う筋萎縮)の機構解明ならびにその治療戦略の確立	葛谷 雅文	老年内科	3,380,000 円	日本学術振興会
30	中枢性尿崩症の再生治療	大磯 ユタカ	糖尿病・内分泌内科	4,420,000 円	日本学術振興会
31	統合失調症発症に関与するゲノムコピー数多型の解析	尾崎 紀夫	精神科	5,980,000 円	日本学術振興会
32	ES細胞由来運動神経細胞を組込んだニューロチップによる次世代FESシステムの開発	平田 仁	手の外科	5,850,000 円	日本学術振興会
33	歯髄幹細胞による中枢神経組織再生	山本 朗仁	口腔外科	3,120,000 円	日本学術振興会
34	心筋由来分泌蛋白を標的とした虚血性心疾患の病態解明	大内 乗有	分子循環器学(興和)寄附講座	8,190,000 円	日本学術振興会
35	ポリグルタミン病における細胞周期およびJNKシグナル異常の病態解明と治療法開発	勝野 雅央	神経内科	7,150,000 円	日本学術振興会

36	半導体ナノ結晶と中空ファイバを活用した脳腫瘍の診断・治療一体型デバイスの開発	水野 正明	脳神経外科	10,010,000 円	✓	補委	日本学術振興会
37	慢性腎不全の生命予後を規定する遺伝子情報の国際比較調査研究	松尾 清一	腎臓内科	7,410,000 円	✓	補委	日本学術振興会
38	気腹圧が腎微小循環に与える影響	服部 良平	泌尿器科	520,000 円	✓	補委	日本学術振興会
39	浸透圧性脱髄モデルにおける脱髄修復機構の分子病態的解析	相村 益久	糖尿病・内分泌内科	910,000 円	✓	補委	日本学術振興会
40	患者中心のコミュニケーション教育プログラム(PEAC)の開発とその評価	鈴木 富雄	総合診療科	1,560,000 円	✓	補委	日本学術振興会
41	経口内視鏡による安全な内視鏡的胃全層切除術の開発	宮原 良二	消化器内科	1,560,000 円	✓	補委	日本学術振興会
42	脂肪組織由来間葉系前駆細胞移植による血管新生療法を試み	新谷 理	循環器内科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
43	血管内皮間葉系細胞転換機序を標的とした肺線維症および肺高血圧症の治療戦略の構築	橋本 直純	呼吸器内科	910,000 円	✓	補委	日本学術振興会
44	長期腹膜透析の可能性に向けた、補体的アプローチ	水野 正司	腎不全総合治療学寄附講座	1,690,000 円	✓	補委	日本学術振興会
45	パーキンソン病の幻視の発現病態機序の解明	渡辺 宏久	神経内科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
46	色素異常症の病態解明により明らかにするメラニン生成調節機構の研究	澤田 昌樹	皮膚科	520,000 円	✓	補委	日本学術振興会
47	アルツハイマー病における自律神経機能評価などによる中枢神経機能評価の試み	梅垣 宏行	老年内科	780,000 円	✓	補委	日本学術振興会
48	内視鏡外科手術における空気超音波走査を用いた情報支援	藤原 道隆	消化器外科	1,040,000 円	✓	補委	日本学術振興会
49	MRIを用いた新しい血流解析法による脳動脈瘤の増大、破裂機序の解明	宮地 茂	脳神経外科	1,040,000 円	✓	補委	日本学術振興会
50	培養骨髄細胞移植による骨再生技術の確立—ストレス刺激培養法の有用性の検討—	鬼頭 浩史	整形外科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
51	腎部分切除術後の腎機能回復に及ぼす自己脂肪組織由来幹細胞の有用性に関する研究	佐々 直人	泌尿器科	130,000 円	✓	補委	日本学術振興会
52	難治性卵巣がんに対する新規がん胎児性抗原を標的とした免疫療法の開発	柴田 清住	産婦人科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
53	膵胆管合流異常の病態と治療に対する統合的研究	金子 健一朗	小児外科	1,040,000 円	✓	補委	日本学術振興会
54	機能的MRIと拡散テンソル画像を用いた脳領域間連結性についての研究	飯高 哲也	精神科	1,560,000 円	✓	補委	日本学術振興会
55	パブリック・メディカル・コミュニケーター(PMC)養成プログラムの開発	安井 浩樹	地域医療教育学寄附講座	910,000 円	✓	補委	日本学術振興会
56	食道バレット上皮、食道腺癌発生に関わる細菌叢T-RFLPプロファイル解析	安藤 貴文	消化器内科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
57	TRP遺伝子を標的とした呼吸器疾患治療の開発	伊藤 理	呼吸器内科	1,690,000 円	✓	補委	日本学術振興会
58	患者血清を用いた免疫複合体疾患動物実験モデルの樹立	坪井 直毅	腎臓内科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
59	脂肪由来間葉系幹細胞を用いた免疫抑制療法の開発	尾崎 武徳	腎臓内科	1,560,000 円	✓	補委	日本学術振興会
60	脱髄性ニューロパチーにおける軸索障害と分子基盤:予後と治療反応性	川頭 祐一	神経内科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
61	ノックインマウスを用いたVWFのドメイン機能の分離による生体内機能の解析	松下 正	輸血部	910,000 円	✓	補委	日本学術振興会
62	摂食障害に伴う脳高次機能障害の回復可能性に関する研究	田中 聡	精神科	650,000 円	✓	補委	日本学術振興会
63	トリプルアレイ法を応用した新規がん関連遺伝子の同定	野本 周嗣	消化器外科	910,000 円	✓	補委	日本学術振興会
64	陽性荷電マグネトリポソームを用いた乳癌・甲状腺癌温熱治療至適条件の開発	今井 常夫	乳腺・内分泌外科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
65	大腸癌microscopic abscessにおける免疫誘導の解明とその臨床応用	上原 圭介	消化器外科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
66	遺伝子移入骨髄幹細胞とコンドロイチナーゼABCを利用した哺乳動物脊髄再生	平野 健一	整形外科	1,560,000 円	✓	補委	日本学術振興会
67	非シナプス型細胞外腔—酸化窒素・ドパミン系神経伝達から解析した麻酔作用機序の解明	足立 裕史	救急医学	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
68	分子標的を介するポリグルタミン病の根本治療法の開発	祖父江 元	神経内科	29,120,000 円	✓	補委	日本学術振興会
69	乳歯幹細胞を用いた脳梗塞細胞療法の開発	杉山 昌彦	口腔外科	1,417,000 円	✓	補委	日本学術振興会
70	乾癬病変のエピジェネティック制御機構解明による新規治療戦略の開発	小川 靖	皮膚科	9,880,000 円	✓	補委	日本学術振興会
71	新規Akt基質Girdinの血管恒常性制御機構の解明	前田 健吾	循環器内科	1,040,000 円	✓	補委	日本学術振興会
72	ステロイド局所投与による内耳血流障害および内耳炎に対する影響の検討	大竹 宏直	耳鼻科	650,000 円	✓	補委	日本学術振興会
73	胆道癌診断における経乳頭の胆管生検組織を用いたIMP3免疫染色の臨床的有用性	川嶋 啓揮	消化器内科	1,170,000 円	✓	補委	日本学術振興会



74	虚血性心疾患におけるプラークの安定化に与える因子と予後探索研究—腎機能を中心に	石井 秀樹	循環器内科	1,820,000 円	✓	補委	日本学術振興会
75	単純性糖質摂取による耐糖能異常の発症機序の解明とインクレチンの役割	清野 祐介	代謝病態学 寄附講座	1,170,000 円	✓	補委	日本学術振興会
76	CGHアレイを用いたダウン症関連急性巨核芽球性白血病の発がんメカニズムの解明	濱 麻人	小児科	780,000 円	✓	補委	日本学術振興会
77	日本人における統合失調症のゲノムワイド関連研究およびそのフォローアップ	Aleksic Branko	精神科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
78	胆管癌に対するピサボロールおよびその誘導体による新規抗癌治療法の開発	板津 慶太	外科感染症学 学寄付講座	1,040,000 円	✓	補委	日本学術振興会
79	脊髄損傷、脊髄腫瘍におけるケラタン硫酸の役割	安藤 圭	整形外科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
80	組織工学的手法によって再生した骨に含まれる骨シアロタンパクの糖鎖構造と機能解析	土屋 周平	口腔外科	1,820,000 円	✓	補委	日本学術振興会
81	成人における顔認知メカニズムの解明	飯高 哲也	精神科	11,050,000 円	✓	補委	文部科学省
82	パーソナルゲノム解析に基づくALSの疾患関連遺伝子探索と病態解明	田中 章景	神経内科	10,530,000 円	✓	補委	文部科学省
83	スキルスラボ教育を活性化させる非常勤医師再教育プログラム開発	伴 信太郎	総合診療科	780,000 円	✓	補委	日本学術振興会
84	小児後天性骨髄不全症候群におけるエピジェネティック情報に基づく新規分類の開発	小島 勢二	小児科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
85	薬効スクリーニング法によるOA治療薬の開発—SOX9を活性化させる薬剤の同定—	金子 浩史	整形外科	1,950,000 円	✓	補委	日本学術振興会
86	薬力学および免疫機能モニタリングによる臓器移植患者の包括的支援体制の構築	葛谷 孝文	薬剤部	1,690,000 円	✓	補委	日本学術振興会
87	医学生の情動能力育成のための6年継続的コミュニケーション教育プログラムの開発	阿部 恵子	地域医療教育学 寄附講座	2,340,000 円	✓	補委	日本学術振興会
88	消化管(食道, 胃, 大腸)癌の病態と治療に関わる遺伝子解析研究	前田 修	消化器疾患	2,470,000 円	✓	補委	日本学術振興会
89	肺癌における診断及び治療標的としてのマイクロRNAの解析	近藤 征史	呼吸器内科	2,990,000 円	✓	補委	日本学術振興会
90	慢性腎臓病におけるCD147の機能解析と新たなCKD治療戦略の確立	小杉 智規	腎臓内科	2,600,000 円	✓	補委	日本学術振興会
91	NPYニューロンに発現するグルココルチコイドレセプターの機能解析	有馬 寛	糖尿病・内分泌内科	1,950,000 円	✓	補委	日本学術振興会
92	血液悪性腫瘍幹細胞—ニッチを破壊させるFGF2の創薬を目標とした最小活性部位同定	中山 享之	血液内科	1,690,000 円	✓	補委	日本学術振興会
93	拡散テンソル画像とPETによるウエスト症候群の潜在病変の検出能と有用性の検討	夏目 淳	小児科	2,340,000 円	✓	補委	日本学術振興会
94	骨髄微小環境下におけるAML幹細胞のチロシンキナーゼ阻害剤耐性機構の解明	嶋田 明	小児科	1,950,000 円	✓	補委	日本学術振興会
95	SGA児に対する生後早期GH療法が中枢神経系に与える影響に関する基礎的研究	早川 昌弘	小児科	1,820,000 円	✓	補委	日本学術振興会
96	悪性腫瘍合併皮膚筋炎におけるTIF1- $\gamma$ が関与する二段階病態仮説の検証	室 慶直	皮膚科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
97	無被曝画像による乳癌術前計画の臨床的有効性の研究とシミュレーションシステムの確立	佐竹 弘子	放射線科	3,380,000 円	✓	補委	日本学術振興会
98	肺葉分割CADを用いたCOPD合併肺癌の術後肺機能予測	岩野 信吾	放射線科	4,550,000 円	✓	補委	日本学術振興会
99	胃全摘後の普遍的な再建法を確立するランダム化比較試験	小寺 泰弘	消化器外科 二	2,470,000 円	✓	補委	日本学術振興会
100	心室中隔穿孔に対するカテーテル治療の開発	碓氷 章彦	胸部外科	1,560,000 円	✓	補委	日本学術振興会
101	ヒアルロン酸ネットワークをターゲットとした新規骨転移保存的治療法の開発	西田 佳弘	整形外科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
102	TACE/ADAM17に着目した有痛性変形性関節症の病態と治療法の解明	建部 将広	手の外科	1,950,000 円	✓	補委	日本学術振興会
103	卵巣癌における上皮間葉移行の新規分子機構の解析	袁 紅	産婦人科	1,950,000 円	✓	補委	日本学術振興会
104	神経堤細胞の制御遺伝子を標的にした加齢性難聴発症の予防・治療薬の開発	曾根 三千彦	耳鼻科	1,950,000 円	✓	補委	日本学術振興会
105	滲出型、萎縮型加齢黄斑変性への小胞体ストレスの関与とそれを標的とした治療法の開発	加地 秀	眼科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
106	トランスジェニックウサギを用いた錐体系網膜電図の新しい概念の確立	近藤 峰生	眼科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
107	Wntシグナル制御下に培養した幹細胞由来成長因子による新規骨再生医療	片桐 涉	口腔外科	2,600,000 円	✓	補委	日本学術振興会
108	慢性閉塞性肺疾患に対する肺再生治療の基盤構築	長谷川 好規	呼吸器内科	1,950,000 円	✓	補委	日本学術振興会
109	TDP43及びFUSの細胞内局在制御因子の探索によるALSモデルと治療法の開発	祖父江 元	神経内科	2,340,000 円	✓	補委	日本学術振興会
110	シグナル伝達・転写活性化因子を標的とした画期的抗腫瘍剤の開発	直江 知樹	血液内科	2,080,000 円	✓	補委	日本学術振興会
111	悪性黒色腫の化学療法抵抗性成立機序の解明	小川 靖	皮膚科	3,900,000 円	✓	補委	日本学術振興会

112	変形性膝関節症に対する後期糖化最終生成物による半月板変性の影響	平岩 秀樹	整形外科	1,560,000 円	✓	補委	日本学術振興会
113	ヒト歯髄幹細胞の培養上清をもちいた中枢神経再生療法の開発	上田 実	口腔外科	2,600,000 円	✓	補委	日本学術振興会
114	細胞破壊と細胞組み込みによる新たな悪性腫瘍治療法の開発	日比 英晴	口腔外科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
115	食品由来タンパク質代謝物インドキシル硫酸による腎不全進行促進メカニズムの解析	清水 英寿	尿毒症病態代謝学寄附講座	2,340,000 円	✓	補委	日本学術振興会
116	薬物依存症における転写調節因子Npas4の役割	永井 拓	薬剤部	2,860,000 円	✓	補委	日本学術振興会
117	日本版高齢者終末期ケア認定介護士養成プログラムの開発	平川 仁尚	キャリア形成支援センター	1,560,000 円	✓	補委	日本学術振興会
118	アディポサイトカインと心腎疾患	柴田 玲	循環器内科	1,560,000 円	✓	補委	日本学術振興会
119	球脊髄性筋萎縮症の治療反応性を規定するバイオマーカーの探索	坂野 晴彦	神経内科	2,600,000 円	✓	補委	日本学術振興会
120	周産期脳障害に対する骨髄幹細胞を用いた新規治療開発	佐藤 義朗	小児科	1,820,000 円	✓	補委	日本学術振興会
121	より臨床知見を反映した新しい統合失調症動物モデルの作製	毛利 彰宏	薬剤部	2,730,000 円	✓	補委	日本学術振興会
122	悪性胸膜中皮腫における受容体型チロシンキナーゼの活性化と治療標的の可能性	川口 晃司	胸部外科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
123	幹細胞関連タンパクを発現するトランスポンソを用いた悪性脳腫瘍発生メカニズムの解明	本村 和也	脳神経外科	3,120,000 円	✓	補委	日本学術振興会
124	妊娠高血圧症候群の病態における分子標的因子の解析と新たな治療法の開発	小谷 友美	産婦人科	1,820,000 円	✓	補委	日本学術振興会
125	プロテオーム解析を用いた良好胚獲得のための基礎的検討および新規排卵誘発方法の開発	後藤 真紀	産婦人科	2,600,000 円	✓	補委	日本学術振興会
126	脂肪細胞由来因子を標的とした虚血性網膜症の病態解明	樋口 暁子	眼科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
127	幹細胞ホーミングとナノ高次構造スキャホールドによる新規骨再生療法	吉見 涼子	口腔外科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
128	ヒアルロン酸レセプターCD44の断片化阻害による、軟骨細胞の脱分化抑制効果	高橋 伸典	整形外科	3,120,000 円	✓	補委	日本学術振興会
129	ハイスリク前癌病変の診断を可能にするTGFβシグナル関連新規バイオマーカーの探索	萩原 純孝	口腔外科	1,690,000 円	✓	補委	日本学術振興会
130	脂質輸送蛋白ABCA12をターゲットとした、魚鱗癬各病型に対する新規治療法の開発	秋山 真志	皮膚科	23,920,000 円	✓	補委	日本学術振興会
131	高齢女性の動脈硬化性疾患予防と健康長寿を目指すアジア老年医学研究	林 登志雄	老年内科	3,120,000 円	✓	補委	日本学術振興会
132	慢性疲労症候群に対する漢方治療と認知行動療法を融合した集学的な治療戦略の確立	伴 信太郎	総合診療科	2,860,000 円	✓	補委	日本学術振興会
133	メタボローム解析による新規AKIバイオマーカーの網羅的探索と検査薬の開発	松尾 清一	腎臓内科	2,860,000 円	✓	補委	日本学術振興会
134	脂肪細胞由来因子をターゲットとした血管内膜肥厚に対する新しい治療戦略	古森 公浩	血管外科	3,380,000 円	✓	補委	日本学術振興会
135	新規抗腫瘍効果判定を目指した分子標的イメージング診断薬の開発と臨床応用	若林 俊彦	脳神経外科	3,380,000 円	✓	補委	日本学術振興会
136	突発性難聴における血液迷路関門の破綻と血管障害関連遺伝子	中島 務	耳鼻科	1,950,000 円	✓	補委	日本学術振興会
137	神経発達障害におけるインターフェロン誘導性膜タンパク質IFITM3の機能解明	山田 清文	薬剤部	4,420,000 円	✓	補委	日本学術振興会
138	孤発性ALS疾患モデルによる病態解明と治療法開発	田中 章景	神経内科	5,330,000 円	✓	補委	日本学術振興会
139	分子標的治療における残存・耐性化機序の解明と克服に向けた基礎研究	直江 知樹	血液内科	5,330,000 円	✓	補委	日本学術振興会
140	メニエール病診療に革新的進歩をもたらす先端磁気共鳴画像診断法の開発と確立	長縄 慎二	放射線科	2,990,000 円	✓	補委	日本学術振興会
141	婦人科がん幹細胞研究と免疫療法の融合	吉川 史隆	産婦人科	5,980,000 円	✓	補委	日本学術振興会
142	血管構築を先行させる新たな骨再生法の開発	日比 英晴	口腔外科	3,510,000 円	✓	補委	日本学術振興会
143	リンパ浮腫治療に向けたリンパ管再生療法の展開研究	室原 豊明	循環器内科	5,070,000 円	✓	補委	日本学術振興会
144	miRNA発現調節によるポリグルタミン病の治療法開発	足立 弘明	神経内科	8,190,000 円	✓	補委	日本学術振興会
145	限内血管新生制御への多角的アプローチ	寺崎 浩子	眼科	6,630,000 円	✓	補委	日本学術振興会
146	アジア系人種のための糸球体濾過量(GFR)推算式作成のための国際学術調査研究	今井 圓裕	腎臓内科	6,760,000 円	✓	補委	日本学術振興会
147	NEPとPTENの相互作用に着目した子宮内膜症発症機序の解明と新規治療法の開発	岩瀬 明	産婦人科	1,040,000 円	✓	補委	日本学術振興会
148	生薬を主に用いた炎症疾患に対する新しい治療戦略の構築	石黒 和博	消化器疾患	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
149	細胞老化制御による進行動脈硬化症治療一本邦高齢者へのオーダーメイド治療を目指す	林 登志雄	老年内科	780,000 円	✓	補委	日本学術振興会

150	血管病変におけるNotchシグナルの役割の解析と制御による血管病治療の開発	竹下 享典	検査部	910,000 円	✓	補委	日本学術振興会
151	動脈硬化性プラーク破綻の新たな分子機構—カテプシンの役割及び遺伝子治療への応用	成 憲武	循環器内科	650,000 円	✓	補委	日本学術振興会
152	脂肪由来細胞を用いた腎疾患治療の開発—再生促進作用と免疫抑制作用の融合—	丸山 彰一	腎臓内科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
153	家族性アミロイドポリニューロパチーのアミロイド沈着機構の解明と治療への応用	小池 春樹	神経内科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
154	FLT3分子の糖鎖修飾と細胞内局在に基づく標的阻害効果増強法の検討	清井 仁	血液内科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
155	メラノサイトが表皮分布するモデルマウスによる遺伝性対側性色素異常症の病態解明	河野 通浩	皮膚科	910,000 円	✓	補委	日本学術振興会
156	癌特異的変異タンパクを標的とした甲状腺乳頭癌及び未分化癌に対する治療法の開発	菊森 豊根	乳腺・内分泌外科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
157	人工心肺を用いない大動脈弁狭窄症手術の開発	上田 裕一	胸部外科	1,690,000 円	✓	補委	日本学術振興会
158	脳神経外科画像誘導手術における高度な画像統合技術確立に関する研究	藤井 正純	脳神経外科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
159	下部尿路閉塞に伴う膀胱微小循環の変化と交感神経遮断薬の微小循環に対する効果の検討	後藤 百万	泌尿器科	910,000 円	✓	補委	日本学術振興会
160	がん化学療法におけるバイオマーカーを用いた腎微小循環障害の病態解明と再生治療	吉野 能	泌尿器科	780,000 円	✓	補委	日本学術振興会
161	OCTを用いたさまざまな網脈絡膜疾患における脈絡膜の変化の研究	伊藤 逸毅	眼科	1,040,000 円	✓	補委	日本学術振興会
162	機能性リコンビナントミニコラーゲンと骨形成蛋白による骨再生の基礎的研究	服部 宇	口腔外科	1,690,000 円	✓	補委	日本学術振興会
163	子どもの自傷と解離傾向：心理療法の可能性の検討	鈴木 太	精神科	780,000 円	✓	補委	日本学術振興会
164	がん薬物療法による末梢神経障害に関わる遺伝的背景	満間 綾子	化学療法部	650,000 円	✓	補委	日本学術振興会
165	個別化した新しい心臓再同期療法適応決定方法の開発	因田 恭也	循環器内科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
166	リンパ管新生関連遺伝子発現に基づく肺癌リンパ節転移の機序解明と診断、治療法の開発	今泉 和良	呼吸器内科	910,000 円	✓	補委	日本学術振興会
167	新たな疾患概念「腎障害におけるRASを介した腎・肺連関」の確立	佐藤 和一	腎臓内科	1,040,000 円	✓	補委	日本学術振興会
168	慢性腎臓病・心血管疾患の発症進展における遺伝子環境相互作用の解明	林 睦晴	CKD地域連携システム寄附講座	1,170,000 円	✓	補委	日本学術振興会
169	多系統萎縮症の画像バイオマーカーの探索・確立	伊藤 瑞規	神経内科	1,170,000 円	✓	補委	日本学術振興会
170	ウイルス持続感染におけるリンパ球の抗原特異性と機能に関する研究	西田 徹也	血液内科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
171	CT画像解析によるステントグラフト形態の変化の分析	井原 努	血管外科	1,040,000 円	✓	補委	日本学術振興会
172	EGCGによるAP-1を介した肝細胞癌発生抑制に関する研究	藤井 努	消化器外科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
173	微小転移における網羅的遺伝子解析とその結果に基づく新規癌転移抑制療法の開発	角田 伸行	乳腺・内分泌外科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
174	遺伝子発現から見た膀胱癌術後補助化学療法の適応	竹田 伸	消化器外科	1,820,000 円	✓	補委	日本学術振興会
175	作業関連上肢筋骨格系障害の発痛におけるMMPとPARの役割の解明	篠原 孝明	手の外科	780,000 円	✓	補委	日本学術振興会
176	腎移植患者におけるテーラーメイド免疫抑制のモニタリング	水谷 一夫	泌尿器科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
177	短鎖ペプチド—インテリジェント化担体を用いた、小口径人工血管の開発	桑原 史明	胸部外科	1,469,000 円	✓	補委	日本学術振興会
178	難治性卵巣癌における上皮間葉転換に基づくオンコジェニックストレス耐性のメカニズム	梶山 広明	産婦人科	3,770,000 円	✓	補委	日本学術振興会
179	ヒト脳腫瘍を病理組織学的に反映したマウスモデルの開発と応用	百田 洋之	脳神経外科	1,040,000 円	✓	補委	日本学術振興会
180	近赤外線酸素モニターを用いた注意欠陥多動性障害に対する薬物療法の客観的評価法開発	吉川 徹	精神科	780,000 円	✓	補委	日本学術振興会
181	セメント質および歯根膜を含む歯周組織再生を目指した歯根延長法の開発	小田 知生	口腔外科	1,040,000 円	✓	補委	日本学術振興会
182	Wnt11による心保護メカニズムの解明と治療応用技術の開発	小林 光一	循環器内科	1,820,000 円	✓	補委	日本学術振興会
183	筋萎縮性側索硬化症の病像・予後に関連する遺伝子的背景の探索・同定	熱田 直樹	神経内科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
184	慢性骨髄性白血病幹細胞の解明と新規分子標的治療剤の基礎研究	南 陽介	血液内科	1,820,000 円	✓	補委	日本学術振興会
185	ゲノムワイドなメチル化解析による若年性骨髄単球性白血病のリスク分類の開発	村松 秀城	小児科	1,690,000 円	✓	補委	日本学術振興会
186	重粒子線心臓照射における電気生理学的及び照射容積線量関係の検討	岡田 徹	放射線科	780,000 円	✓	補委	日本学術振興会
187	脊髄損傷に対する耐熱性ケラタナーゼの効果～慢性期投与と臨床応用に向けて	今釜 史郎	整形外科	1,820,000 円	✓	補委	日本学術振興会

188	難治性卵巣がんにおけるGlypican-3の機能に基づいた新規治療法の開発	梅津 朋和	産婦人科	1,430,000 円	✓	補委	日本学術振興会
189	口腔癌転移モデルに対する磁場誘導組織内温熱免疫療法	山本 憲幸	口腔外科	1,820,000 円	✓	補委	日本学術振興会
190	運動ニューロン疾患におけるニューロサキト変性の病態解明と治療法開発	勝野 雅央	神経内科	19,760,000 円	✓	補委	文部科学省
191	ケアマネージャーによる要介護者・主介護者に対する複合的介入—ランダム化比較試験—	葛谷 雅文	老年内科	1,170,000 円	✓	補委	日本学術振興会
192	婦人科癌幹細胞の特性と上皮間葉転換	吉川 史隆	産婦人科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
193	SOX9発現量増加に注目した軟骨細胞脱分化防止法開発—軟骨細胞移植治療の改善—	石黒 直樹	整形外科	1,690,000 円	✓	補委	日本学術振興会
194	変形性関節症の病態形成におけるmicroRNAの役割について	酒井 忠博	整形外科	1,560,000 円	✓	補委	日本学術振興会
195	ストレスによる精神疾患発症における脳特異的転写因子NPAS4の役割	日比 陽子	薬剤部	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
196	がん薬物療法における血管新生阻害薬の薬物効果予測因子としての眼底所見の探索的研究	安藤 雄一	化学療法部	4,550,000 円	✓	補委	日本学術振興会
197	心不全における新たな病態制御機構の解明:セリンプロテアーゼDPP4の役割	坂東 泰子	循環器内科	1,950,000 円	✓	補委	日本学術振興会
198	肺癌の上皮間葉細胞転換原因遺伝子と新規治療標的の探索研究	佐藤 光夫	呼吸器内科	1,690,000 円	✓	補委	日本学術振興会
199	視床下部におけるプロテインタイロシンフォスファターゼ1B発現調節機構の解析	坂野 僚一	糖尿病・内分泌内科	2,080,000 円	✓	補委	日本学術振興会
200	JAKを阻害しない新規STAT3阻害剤の作用機序解明と白血病幹細胞への効果の検討	早川 文彦	血液内科	2,080,000 円	✓	補委	日本学術振興会
201	HLA-DP分子特異的免疫応答の解析:新しい免疫療法開発に向けて	村田 誠	血液内科	1,950,000 円	✓	補委	日本学術振興会
202	ハプロー致移殖後再発HLA-LOH白血病細胞におけるNK細胞傷害メカニズムの解明	高橋 義行	小児科	1,690,000 円	✓	補委	日本学術振興会
203	新規に確立したヒト組織モデルによるEBウイルス感染病態解析と薬剤スクリーニング	伊藤 嘉規	小児科	1,950,000 円	✓	補委	日本学術振興会
204	乾癬表皮角化細胞における細胞周期S期亢進を介したエピジェネティクス異常機構の解明	杉浦 一充	皮膚科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
205	統合失調症死後脳の神経病理学的検討—疾患モデル動物との比較—	入谷 修司	精神科	1,170,000 円	✓	補委	日本学術振興会
206	認知症に対する画像診断の有用性に関するシステムティックレビュー	二橋 尚志	放射線科	2,470,000 円	✓	補委	日本学術振興会
207	食道癌に対する相互マシニング法によるHedgehog新規阻害剤の開発	深谷 昌秀	消化器外科	2,730,000 円	✓	補委	日本学術振興会
208	癌における細胞老化関連遺伝子の探索と臨床応用	伊神 剛	消化器外科	2,730,000 円	✓	補委	日本学術振興会
209	機能的MRIネットワーク解析によるてんかん診断システムの開発	前澤 聡	脳神経外科	4,290,000 円	✓	補委	日本学術振興会
210	神経縫合術の成績を向上する生分解性フィルムの開発	奥井 伸幸	手の外科	1,690,000 円	✓	補委	日本学術振興会
211	脳死関連肺障害の病態解明と予防・治療法の開発	西脇 公俊	麻酔科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
212	絨毛癌におけるhCG過剰糖鎖付加酵素の機能と絨毛癌発症機構の解明	山本 英子	産婦人科	2,080,000 円	✓	補委	日本学術振興会
213	放射線治療が嚥下機能に与える影響の研究	藤本 保志	耳鼻科	3,380,000 円	✓	補委	日本学術振興会
214	13-シスレチノイン酸を用いたレチノイドサイクルの遮断による網膜色素変性症の治療	米今 敬一	眼科	3,640,000 円	✓	補委	日本学術振興会
215	皮膚由来前駆細胞を用いた糖尿病性潰瘍の新規治療法開発に関する基礎的研究	蛭沢 克己	形成外科	2,080,000 円	✓	補委	日本学術振興会
216	報酬に基づく意思決定に対する依存性薬物の影響	山田 清文	薬剤部	2,340,000 円	✓	補委	日本学術振興会
217	新規脂肪由来間葉系幹細胞における免疫制御分子機構の解明	松尾 清一	腎臓内科	2,600,000 円	✓	補委	日本学術振興会
218	疾患モデル動物における小胞体ストレスから細胞死に至るプロセスの解析	大磯 ユタカ	糖尿病・内分泌内科	1,170,000 円	✓	補委	日本学術振興会
219	アトピー性皮膚炎の表皮角化細胞におけるTSLPの産生機構	秋山 真志	皮膚科	3,900,000 円	✓	補委	日本学術振興会
220	次世代シーケンサーを活用した統合失調症のトランスクリプトーム解析	尾崎 紀夫	精神科	2,730,000 円	✓	補委	日本学術振興会
221	敗血症病態における遺伝子認識型受容体シグナルのノックダウン解析	松田 直之	救急医学	1,950,000 円	✓	補委	日本学術振興会
222	骨延長モデルを用いた幹細胞集積因子の機能解析	山本 朗仁	口腔外科	2,340,000 円	✓	補委	日本学術振興会
223	MISMによる局所分散型筋制御システムの開発	栗本 秀	手の外科	2,860,000 円	✓	補委	日本学術振興会
224	新規ネイティブフォームGPCR提示システムによる抗GPCR抗体アッセイ法の創製	秋山 真一	腎臓内科	3,770,000 円	✓	補委	日本学術振興会
225	神経発達障害に関連するサイトカイン誘導性膜タンパク質IFI-TM3のシグナル解析	中島 晶	薬剤部	2,600,000 円	✓	補委	日本学術振興会

226	フォリスタチン類似蛋白1の心肥大制御機構の解明	嶋野 祐之	循環器内科	1,170,000 円	✓	補委	日本学術振興会
227	心臓リモデリングにおける血管調節機構の解明	大橋 浩二	循環器内科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
228	難治性ニューロパチーの軸索-髄鞘間相互作用からみた病態機序の解明	飯島 正博	神経内科	2,730,000 円	✓	補委	日本学術振興会
229	ステロイドによる新生児脳障害およびその治療法の開発	一ノ橋 祐子	小児科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
230	発達障害の社会的行動障害の生物学的基盤の解明とテーラード治療の開発	岡田 俊	精神科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
231	大動脈瘤に対する幹細胞療法の開発	吉住 朋	胸部外科	2,730,000 円	✓	補委	日本学術振興会
232	長時間開腹手術に対する体幹部末梢神経ブロック二回注入法の検討	柴田 康之	麻酔科	2,860,000 円	✓	補委	日本学術振興会
233	ラット胎仔横隔膜ヘルニアモデルにおける肺低形成予測因子の確立及び治療への応用	津田 弘之	産婦人科	1,300,000 円	✓	補委	日本学術振興会
234	卵巣癌腹膜播種における腹腔内免疫動態の解析と新規治療による腫瘍免疫寛容の克服	藤原 多子	産婦人科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
235	腫瘍関連網膜症の新たな診断法の確立と病態の解明	上野 真治	眼科	2,210,000 円	✓	補委	日本学術振興会
236	遺伝子解析と分子トレーシングを基盤とした細胞標的分子の創製	夏目 敦至	脳神経外科	41,600,000 円	✓	補委	文部科学省
237	幹細胞由来成長因子を用いた骨造成に関する研究	池野 正幸	口腔外科	1,560,000 円	✓	補委	日本学術振興会
238	地域中核病院における自殺対策関連の対応医師養成事業	尾崎 紀夫	精神科	15,000,000 円	✓	補委	愛知県
239	骨ステントと高靱性人工骨による低侵襲な脆弱性骨折治療法の開発	平田 仁	手の外科	2,460,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
240	IgGシアル酸付加の生理・病理的意義	古川 鋼一	機能分子制御	9,100,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
241	神経発達関連因子を標的とした統合失調症の分子病態解明	貝淵 弘三	神経情報薬理	82,550,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
242	孤発性ALSのモデル動物作成を通じた分子標的治療開発	祖父江 元	神経内科	61,100,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
243	神経障害によりグリアを起点として作動する新たな炎症・免疫系メディエーターネットワークの解析	木山 博資	機能組織	13,000,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
244	ポリグルタミン病の病態因子を標的とした治療開発とその臨床応用	勝野 雅央	神経内科	17,290,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
245	神経筋疾患におけるスプライシング異常	大野 欽司	神経遺伝情報	4,000,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
246	筋強直性ジストロフィー治療薬の開発	大野 欽司	神経遺伝情報	1,999,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
247	聴覚神経回路での入力依存的な神経活動制御	久場 博司	細胞生理	13,650,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
248	高齢者の排尿ケアマニュアル:診断と対処のためのiPad用ソフトの開発	後藤 百万	泌尿器科	1,700,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
249	可溶性シグレック-7によるナチュラルキラー活性化と転移抑制の2面的癌治療法の開発	古川 鋼一	機能分子制御	1,700,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
250	生体磁気診断の普及に貢献するシールドレス超高感度磁気センサの開発	中山 晋介	細胞生理	2,730,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
251	神経変性疾患の病因蛋白質の生体内分解系を利用した分子標的治療	足立 弘明	神経内科	1,700,000 円	✓	補委	独)科学技術振興機構
252	疾患モデルブタの研究開発	門松 健治	分子生物	12,429,000 円	✓	補委	独)農業生物資源研究所
253	臓器移植用モデルブタの研究開発	小林 孝彰	免疫機能制御学寄附講座	6,253,000 円	✓	補委	独)農業生物資源研究所
254	内視鏡下手術支援システムの研究開発	梶田 泰一	脳神経外科	63,551,250 円	✓	補委	独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
255	フタル酸エステルの生殖・次世代影響の健康リスク評価に関する研究	那須 民江	環境労働衛生	8,500,000 円	✓	補委	内閣府
256	ナノ粒子曝露の肝臓・腎臓への影響のメカニズム解析と新たなバイオマーカー創出・リスク評価に関する研究	那須 民江	環境労働衛生	8,000,000 円	✓	補委	独)国立環境研究所
257	生化学分野に関する学術研究動向調査研究	古川 鋼一	機能分子制御	2,002,000 円	✓	補委	独)日本学術振興会
258	眼科分野に関する学術研究動向調査研究	寺崎 浩子	眼科	1,870,000 円	✓	補委	独)日本学術振興会
257	高齢者の終末期医療の在り方と倫理的課題に関する研究	植村 和正	総合医学教育センター	800,000 円	✓	補委	独)国立長寿医療研究センター
258	歯髄幹細胞を用いた歯髄・象牙質再生によるう蝕・歯髄疾患治療法の臨床応用開発	武井 佳史	分子生物	2,000,000 円	✓	補委	独)国立長寿医療研究センター
259	高齢者の慢性疾患に伴う低栄養・サルコペニアの評価に関する研究	葛谷 雅文	老年科	1,100,000 円	✓	補委	独)国立長寿医療研究センター
260	認知症に係わる人材育成に関する研究	葛谷 雅文	老年科	1,000,000 円	✓	補委	独)国立長寿医療研究センター
261	老化及び老年病に関する長期縦断的疫学研究	葛谷 雅文	老年科	1,200,000 円	✓	補委	独)国立長寿医療研究センター

262	心拍変動解析を用いた高齢者の術後回復度評価	西脇 公俊	麻酔科	300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独)国立長寿医療研究センター
263	高齢者の感覚器機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究	中島 務	耳鼻科	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独)国立長寿医療研究センター
264	高齢者の感覚器機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究	寺西 正明	耳鼻科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独)国立長寿医療研究センター
265	高齢者の感覚器機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究	寺崎 浩子	眼科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独)国立長寿医療研究センター
266	気分障害の病態解明と診断治療法の開発に関する研究	尾崎 紀夫	精神科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
267	精神・神経疾患のエピゲノム解析に関する開発的研究(分担課題名)統合失調症の発症脆弱性遺伝子とエピジェネティクス	貝淵 弘三	神経情報薬理	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
268	筋ジストロフィーおよび関連疾患の診断・治療開発を目指した基盤研究(分担課題名)神経筋接合部疾患・筋強直性ジストロフィーの病態解明・制御研究	大野 欽司	神経遺伝情報	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
269	神経芽腫治療法開発へのモデル動物の応用	門松 健治	分子生物	1,370,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	千葉県がんセンター
270	JALSG検体保存・付随研究	直江 知樹	血液内科	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立がん研究センター
271	発がん過程における酸素ラジカルの意義に関する研究	豊國 伸哉	生体反応病理	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立がん研究センター
272	推算GFRを用いた日本人に示適なカルボプラチンの投与量	長谷川 好規	呼吸器内科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立がん研究センター
273	骨・筋肉関連疾患における遺伝情報に応じた個別化医療の実現	祖父江 元	神経内科	9,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
274	ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療	高橋 隆	分子腫瘍	5,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
275	iPS細胞由来血管前駆細胞を用いた新規血管再生医療の展開研究	室原 豊明	循環器内科	49,920,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
276	網羅的スプライシング暗号解析に基づくRNA病の解明と治療技術の探索	大野 欽司	神経遺伝情報	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
277	前頭側頭葉変性症の病態解明に基づくdisease-modifying therapyの開発	祖父江 元	神経内科	67,380,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
278	広汎性発達障害と統合失調症のゲノム解析を起点として、発症因に基づく両疾患の診断体系再編と診断法開発を目指した研究:多面発現的効果を有するゲノムコピー数変異(CNV)に着目して	尾崎 紀夫	精神科	96,499,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
279	早期診断マルチバイオマーカー開発	高橋 隆	分子腫瘍	40,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
280	創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザインの確立	直江 知樹	血液内科	24,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
281	情動の制御機構を解明するための神経情報基盤の構築	貝淵 弘三	神経情報薬理	134,550,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
282	脳死後の多施設共同研究に使用可能なリサーチソースネットワークの構築に関する研究	渡辺 宏久	神経内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立精神・神経医療研究センター
283	Bio-nanocapsuleを応用した血管炎症部位への積極的ドラッグデリバリーシステムの開発	坪井 直毅	腎臓内科	858,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人科学技術振興機構
284	脂肪由来幹細胞の凍結保存システムの開発	安田 香	腎臓内科	1,435,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人科学技術振興機構
285	閉鎖系培養法による脂肪由来間葉系幹細胞の新たな培養技術開発	尾崎 武徳	腎臓内科	1,609,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人科学技術振興機構
286	ヒト認知症に近い病態モデルにおける抗認知症効果の予測に関する研究開発	山田 清文	薬剤部	5,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	静岡県公立大学法人
287	難治性ニューロパシーの診断技術と治療法の開発に関する研究	小池 春樹	神経内科	700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立精神・神経医療研究センター
288	リンパ系腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	富田 章裕	血液内科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人国立がん研究センター
289	骨軟部腫瘍に対するIFN遺伝子治療の開発。特に、遺伝子治療製剤の製造	水野 正明	先端医療・臨床研究支援	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人国立がん研究センター
290	頭頸部外科領域における手術手技の開発と標準化	藤本 保志	耳鼻いんこう科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人国立がん研究センター
291	医療現場での小型・迅速滅菌のための低温N2ハルスプラズマ滅菌装置の開発	八木 哲也	中央感染制御部	95,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	経済産業省
292	高齢者の認知機能低下に対する、心機能の向上を介した新規治療概念の構築	因田 恭也	循環器内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療研究センター
293	不妊に悩む男女の実態に関する調査研究	岩瀬 明	周産母子センター	4,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	愛知県
294	高齢者の食欲不振、低栄養状態の原因の解明に関する研究	大宮 直木	消化器内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療研究センター
295	高齢者造血器障害に関する分子疫学的研究	清井 仁	血液内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療研究センター
296	高齢者術後せん妄に対する予防法・治療法の標準化に関する研究	横山 幸浩	消化器外科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療研究センター
297	高齢者の運動器疾患の調査とそれに係る新規長寿医療医療の開発	小嶋 俊久	整形外科	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療研究センター
298	高齢者の運動器疾患の調査とそれに係る新規長寿医療医療の開発	今釜 史郎	整形外科	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療研究センター
299	もの忘れセンター認知症患者における臨床症候のデータ蓄積および追跡調査	渡辺 宏久	神経内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療研究センター

300	高齢者における新興・再興感染症、インフルエンザの治療および感染管理に関する研究	八木 哲也	中央感染症 御部	850,000	円	<input type="checkbox"/> 補 <input checked="" type="checkbox"/> 委	国立長寿医療研 究センター
-----	---	-------	-------------	---------	---	---	------------------

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前  度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合には「委」に「レ」をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Eur J Haematol	FLT3/ITD regulates leukaemia cell adhesion through $\alpha 4 \beta 1$ integrin and Pyk2 signalling.	Kiyoi Hitoshi	血液内科
2	Bone Marrow Transplant	Cytotoxic T-lymphocyte antigen 4 haplotype correlates with relapse and survival after allogeneic hematopoietic SCT.	Nishida Tetsuya	血液内科
3	Oncogene	PAX5-PML acts as a dual dominant-negative form of both PAX5 and PML.	Hayakawa Fumihiko	血液内科
4	Leuk Res	Prevalence and clinical characteristics of N-terminally truncated WT1 expression in acute myeloid leukemia.	Kiyoi Hitoshi	血液内科
5	Ann Oncol	A prospective dose-finding trial using a modified continual reassessment method for optimization of fludarabine plus melphalan conditioning for marrow transplantation from unrelated donors in patients with hematopoietic malignancies.	Terakura Seitaro	血液内科
6	Cancer Lett	MicroRNA-143 functions as a tumor suppressor in human bladder cancer T24 cells.	Naoe Tomoki	血液内科
7	Cancer Sci	Phase I trial of gemtuzumab ozogamicin in intensive combination chemotherapy for relapsed or refractory adult acute myeloid leukemia (AML): Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG)-AML206 study.	Naoe Tomoki	血液内科
8	Blood	Missense mutations in PML-RARA critical for the lack of responsiveness to arsenic trioxide treatment.	Tomita Akihiro	血液内科
9	Am J Pathol	Mesenchymal Stem Cells Stably Transduced with a Dominant-Negative Inhibitor of CCL2 Greatly Attenuate Bleomycin-Induced Lung	Naoe Tomoki	血液内科
10	Blood Cancer J.	The mTOR inhibitor, everolimus (RAD001), overcomes resistance to imatinib in quiescent Ph-positive acute lymphoblastic leukemia cells.	Minami Yosuke	血液内科
11	Leuk Res	BCR-ABL1 mutations in patients with imatinib-resistant Philadelphia chromosome-positive leukemia by use of the PCR-Invader assay.	Naoe Tomoki	血液内科
12	Leukemia	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for acute myeloid leukemia with t(6;9)(p23;q34) dramatically improves the patient prognosis: a matched-pair analysis.	Naoe Tomoki	血液内科
13	Ann Hematol	Efficacy and safety of micafungin as an empirical antifungal therapy for suspected fungal infection in neutropenic patients with hematological disorders.	Naoe Tomoki	血液内科
14	Blood	Epstein-Barr virus (EBV)-associated T/NK lymphoproliferative diseases in non-immunocompromised hosts: prospective analysis of 108 cases.	Naoe Tomoki	血液内科
15	Br J Haematol	Molecular lesions in childhood and adult acute megakaryoblastic leukaemia.	Naoe Tomoki	血液内科
16	Blood	Retrospective analysis of prognostic factors for angioimmunoblastic T-cell lymphoma: a multicenter cooperative study in Japan.	Naoe Tomoki	血液内科



17	Biochem Biophys Res Commun	Using peripheral blood circulating DNAs to detect CpG global methylation status and genetic mutations in patients with myelodysplastic syndrome.	Tomita Akihiro	血液内科
18	Nagoya J Med Sci	Determination of ferritin and hemosiderin iron in patients with normal iron stores and iron overload by serum ferritin kinetics.	Tomita Akihiro	血液内科
19	<i>Cell Immunol</i>	Escape of leukemia blasts from HLA-specific CTL pressure in a recipient of HLA one locus-mismatched bone marrow transplantation.	Terakura Seitaro	血液内科
20	J. Am. Coll. Cardiol.	Optical coherence tomography images of a coronary artery aneurysm in an infarct-related artery 6 months after bare-metal stent implantation.	Yoshikawa D, Ishii H, Aoyama Y, Ichimiya H, Shimizu Y, Isobe S, Shintani S, Kureishi-Bando Y,	循環器内科学
21	Am. J. Physiol. Heart Circ. Physiol.	Eicosapentaenoic acid prevents atrial fibrillation associated with heart failure in a rabbit model.	Kitamura K, Shibata R, Tsuji Y, Shimano M, Inden Y, Murohara T.	循環器内科学
22	Clin. Ther.	Comparison of atorvastatin 5 and 20 mg/d for reducing F-18 fluorodeoxyglucose uptake in atherosclerotic plaques on positron emission tomography/computed tomography: a randomized, investigator-blinded, open-label, 6-month study in Japanese adults scheduled for percutaneous coronary intervention.	Ishii H, Nishio M, Takahashi H, Aoyama T, Tanaka M, Toriyama T, Tamaki T, Yoshikawa D, Hayashi M, Amano T, Matsubara T, Murohara T.	循環器内科学
23	J. Comput. Assist. Tomogr.	Cystatin C: a possible sensitive marker for detecting potential kidney injury after computed tomography coronary angiography.	Takeuchi T, Isobe S, Sato K, Kato MI, Kasai NN, Ohyama H, Yoshikawa D, Ishii H, Matsubara	循環器内科学
24	Arterioscler. Thromb. Vasc. Biol.	Enhanced angiogenesis by transplantation of mesenchymal stem cell sheet created by a novel magnetic tissue engineering method.	Ishii M, Shibata R, Numaguchi Y, Kito T, Suzuki H, Shimizu K, Ito A, Honda H, Murohara T.	循環器内科学
25	Nephrol. Dial. Transplant.	Impact of chronic kidney disease on the incidence of peri-procedural myocardial injury in patients undergoing elective stent implantation.	Kumagai S, Ishii H, Amano T, Uetani T, Kato B, Harada K, Yoshida T, Ando H, Kunimura A, Shimbo Y, Kitagawa K, Harada K, Hayashi M, Yoshikawa D, Matsubara T,	循環器内科学
26	Atherosclerosis.	Circulating omentin is associated with coronary artery disease in men.	Shibata R, Ouchi N, Kikuchi R, Takahashi R, Takeshita K, Kataoka Y, Ohashi K, Ikeda N, Kihara S, Murohara T.	循環器内科学

27	Hepatol Res 2011	Anti-hepatitis B surface immunoglobulin reduction in early postoperative period after liver transplantation in hepatitis B virus-positive patients.	Ishigami M, Goto H	消化器内科
28	AJR Am J Roentgenol 2011	Diagnosis of the invasion depth of gastric cancer using MDCT with virtual gastroscopy: comparison with staging with endoscopic	Furukawa K, Goto H	消化器内科
29	Ann Hematol 2012	Retrospective analysis of primary gastric diffuse large B cell lymphoma in the rituximab era: a multicenter study of 95 patients in Japan.	Tanaka T, Goto H	消化器内科
30	Jpn J Clin Oncol 2011	Phase II trial of neoadjuvant chemotherapy with XELOX plus bevacizumab for locally advanced rectal cancer.	Uehara K, Goto H	消化器内科
31	Liver Int 2011	Association of interleukin 28B and mutations in the core and NS5A region of hepatitis C virus with response to peg-interferon and ribavirin	Hayashi K, Goto H	消化器内科
32	Pancreas 2011	Dynamic quantitative evaluation of contrast-enhanced endoscopic ultrasonography in the diagnosis of pancreatic diseases.	Matsubara H, Goto H	消化器内科
33	J Med Virol 2012	Prevalence of hepatitis C virus genotype 1a in Japan and correlation of mutations in the NS5A region and single-nucleotide polymorphism of interleukin-28B with the response to combination therapy with pegylated-interferon-alpha 2b and ribavirin.	Hayashi K, Goto H	消化器内科
34	J Clin Gastroenterol 2012	Endoscopic and Imaging Findings in Protein-losing Enteropathy.	Takenaka H, Goto H	消化器内科
35	Ann Hematol 2012	Retrospective analysis of primary gastric diffuse large B cell lymphoma in the rituximab era: a multicenter study of 95 patients in Japan.	Tanaka T, Goto H	消化器内科
36	J Gastroenterol	Different effect of HBV vaccine after liver transplantation between chronic HBV carriers and non-HBV patients who received HBcAb-positive grafts.	Ishigami M	消化器内科
37	Nature 2011;480::57-62.	Self-formation of functional adenohipophysis in three-dimensional culture.	Suga H, Oiso Y, Sasai Y.ほか	糖尿病内分泌内科
38	World J Surg	Preoperative biliary MRSA infection in patients undergoing hepatobiliary resection with cholangiojejunostomy: Incidence, Antibiotic treatment, and Surgical outcome	Daisuke Takara	消化器外科一
39	Annals of Surgery	Gallbladder cancer involving the extrahepatic bile duct is worthy of resection	Hideki Nishio	消化器外科一
40	World J Surg	Supraportal right posterior hepatic artery: An anatomic trap in hepatobiliary and transplant surgery	Yuichiro Yoshioka	消化器外科一
41	World J Surg	Staging of peripheral-type intrahepatic cholangiocarcinoma: appraisal of the new TNM classification and its modifications	Tsuyoshi Igami	消化器外科一
42	JJCO	Phase II trial of neoadjuvant chemotherapy with XELOX plus Bevacizumab for locally advanced rectal cancer	Keisuke Uehara	消化器外科一
43	Surgery Today	A late type III endoleak from fabric tears of a Zenith stent graft	坂野 比呂志	血管外科
44	Surgery Today	Cost disparity between open repair and endovascular aneurysm repair for abdominal aortic aneurysm: a single-institute experience in	森前 博文	血管外科
45	Annals of Vascular Surgery	3D workstation is useful for measuring the correct size of abdominal aortic aneurysm (AAA) diameters	井原 努	血管外科
46	Pancreatology	Prognostic implications of intraoperative radiotherapy for unresectable pancreatic cancer	長井 俊志	消化器外科二

47	Anticancer Research	p16INK4a methylation in serum as a follow-up marker for recurrence of colorectal cancer	中山 吾郎	消化器外科二
48	臨床腫瘍プラクティス	癌性腹膜炎/癌性腹水に対する腹腔内投与のポイントとは？	小寺 泰弘	消化器外科二
49	癌と化学療法	腹膜播種陽性胃癌に対する化学療法	小寺 泰弘	消化器外科二
50	Cancer Letters	Identification of the bleomycin hydrolase gene as a methylated tumor suppressor gene in hepatocellular carcinoma using a novel triple-combination array method	岡村 行泰	消化器外科二
51	Hepato-Gastroenterology	Oncolytic Herpes Virus Induces Effective Anti-Cancer Immunity against Murine Colon Cancer.	城田 高	消化器外科二
52	Cancer Gene Therapy	A phase I dose-escalation clinical trial of intraoperative direct intratumoral injection of HF10 oncolytic virus in non-resectable patients with advanced pancreatic cancer	中尾 昭公	消化器外科二
53	Transplantation	Clinical Significance of regulatory T-cell-related gene expression in peripheral blood after renal transplantation.	岩瀬 勇人	消化器外科二
54	Hepatogastroenterology	Combination of the Tumor Angiogenesis Inhibitor Bevacizumab and Intratumoral Oncolytic Herpes Virus Injections as a Treatment Strategy for Human Gastric Cancers.	出口 智宇	消化器外科二
55	Hepatogastroenterology	Decreased expression and aberrant hypermethylation of the SFRP genes in human gastric cancer.	木下 敬史	消化器外科二
56	Hepatogastroenterology	Measurement of inserting motion of bladeless trocar at real surgery for development of a virtual training system for initial trocar placement in laparoscopic surgery.	渡邊 卓哉	消化器外科二
57	World Journal of Surgery	Suppressor of cytokine signaling 4 detected as a novel gastric cancer suppressor gene using double combination array analysis	小林 大介	消化器外科二
58	Journal of Surgical Oncology	Identification of the a linase anchor protein 12 (AKAP12) gene as a candidate tumor suppressor of hepatocellular carcinoma.	林 真路	消化器外科二
59	Breast Cancer	Phase I/II study of intraoperative radiotherapy for early breast cancer in Japan.	Sawaki M.(澤木正孝)	乳腺内分泌外科
60	J Neuroinflammation	The endogenous proteoglycan-degrading enzyme ADAMTS-4 promotes functional recovery after spinal cord injury.	田内亮 他	整形外科
61	Spine	Clinical outcome of treatments for spinal dural arteriovenous fistulas: results of multivariate analysis and review of the literature.	若尾典充 他	整形外科
62	J Neurosurg Spine	Complications of cervical pedicle screw fixation for nontraumatic lesions: a multicenter study of 84 patients.	中島宏彰 他	整形外科
63	J Neurosurg Spine	Examination of the influence of ossification of the anterior longitudinal ligament on symptom progression and surgical outcome of ossification of the thoracic ligamentum flavum: a multicenter study.	安藤圭 他	整形外科
64	Spine	The effect of $\beta$ -carotene on lumbar osteophyte formation.	今釜史郎 他	整形外科
65	Neuropathology	A case of split notochord syndrome: an adult with a spinal endodermal cyst mimicking an intramedullary tumor.	若尾典充 他	整形外科
66	J Neurosci	Keratan sulfate restricts neural plasticity after spinal cord injury.	今釜史郎 他	整形外科

67	J Neurosurg Spine	Outcomes of fusion surgery for ossification of the posterior longitudinal ligament of the thoracic spine: a multicenter retrospective survey: clinical article.	松本智宏 他	整形外科
68	J Orthop Sci	Perioperative complications and adverse events after lumbar spinal surgery: evaluation of 1012 operations at a single center.	今釜史郎 他	整形外科
69	J Bone Joint Surg Am	Conservative treatment for cervical radiculopathy due to extensive foraminal disc calcification in children: a case report.	今釜史郎 他	整形外科
70	Eur Spine J	Differentiation of localization of spinal hemangioblastomas based on imaging and pathological findings.	今釜史郎 他	整形外科
71	Eur Spine J	Factors related to surgical outcome after posterior decompression and fusion for craniocervical junction lesions associated with osteogenesis imperfecta.	今釜史郎 他	整形外科
72	J Orthop Sci	Treatment for primary spinal atypical teratoid/rhabdoid tumor.	今釜史郎 他	整形外科
73	Spine	An arterial pulse examination is not sufficient for diagnosis of peripheral arterial disease in lumbar spinal canal stenosis: a prospective multicenter study.	今釜史郎 他	整形外科
74	Eur Spine J	Back muscle strength and spinal mobility are predictors of quality of life in middle-aged and elderly males.	今釜史郎 他	整形外科
75	Br J Cancer. 2011 Dec 6;105(12):1839-49.	Inhibition of hyaluronan retention by 4-methylumbelliferone suppresses osteosarcoma cells in vitro and lung metastasis in vivo.	Arai E, Nishida Y, 他7名	整形外科
76	Int J Cancer. 2012 Jan 15;130(2):454-66.	Inhibition of hyaluronan synthesis in breast cancer cells by 4-Methylumbelliferone suppresses tumorigenicity in vitro and metastatic lesions of bone in vivo.	Urakawa H, Nishida Y, 他7名	整形外科
77	Cancers. 2012 Mar;4(1):88-99.	Transition of Treatment for Patients with Extra-Abdominal Desmoid Tumors: Nagoya University Modality.	Nishida Y, 他5名	整形外科
78	J Anat.	Regeneration of the perineurium after microsurgical resection examined with immunolabeling for tenascin-C and alpha smooth muscle actin.	Yamamoto M, Okui N, Tatebe M, Shinohara T, Hirata H.	手の外科
79	Hand Surg	Reliability of Lichtman's classification for Kienböck's disease in 99 subjects.	Shin M, Tatebe M, Hirata H, Koh S, Shinohara T.	手の外科
80	J Hand Surg Am	Cubital Tunnel Syndrome Caused by Amyloid Elbow Arthropathy in Long-term Hemodialysis Patients: Report of 4 Cases.	Shinohara T, Tatebe M, Okui N, Yamamoto M, Kurimoto S, Hirata H.	手の外科
81	J Bone Joint Surg Am	Clinical outcomes of corrective osteotomy for distal radial malunion: a review of opening and closing-wedge techniques.	Wada T, Tatebe M, Ozasa Y, Sato O, Sonoda T, Hirata H,	手の外科
82	J Orthop Sci.	Development and validation of a ten-item questionnaire with explanatory illustrations to assess upper extremity disorders: favorable effect of illustrations in the item reduction	Kurimoto S, Suzuki M, Yamamoto M, Okui N, Imaeda T,	手の外科
83	J Orthop Sci	Arthroscopic findings of Kienböck's disease.	Tatebe M, Hirata H, Shinohara T, Yamamoto M, Okui N, Kurimoto S, Imaeda T.	手の外科

84	Bull NYU Hosp Jt Dis.	Pollicization after radical resection of diffuse arteriovenous malformation of the thumb - a case report.	Shinohara T, Tatebe M, Koh S, Yamamoto M, Hirata H.	手の外科
85	Acta Orthop Belg.	Proximal row carpectomy for chronic unreduced perilunate dislocations.	Shinohara T, Tatebe M, Okui N, Yamamoto M, Kurimoto S, Hirata H.	手の外科
86	J Orthop Trauma.	Pathomechanical Significance of Radial Head Subluxation in the Onset of Osteochondritis Dissecans of the Radial Head.	Tatebe M, Hirata H, Shinohara T, Yamamoto M, Morita A, Horii E..	手の外科
87	Nagoya J Med Sci.	Tilt of the radius from forearm rotational axis reliably predicts rotational improvement after corrective osteotomy for malunited forearm fractures.	Tatebe M, Shinohara T, Okui N, Yamamoto M, Kurimoto S, Hirata H.	手の外科
88	J Hand Surg Am.	Sonography-guided Arthroscopy for Wrist Ganglion.	Yamamoto M, Kurimoto S, Okui N, Tatebe M, Shinohara T, Hirata H.	手の外科
89	末梢神経	手根管開放術および手根管内ステロイド注射後における上肢機能評価の経時的变化について	岩月克之, 栗本秀, 山本美知郎, 建部将広, 篠原孝明, 平田仁	手の外科
90	Invest Ophthalmol Vis Sci	C9-R95X Polymorphism in Patients with Neovascular Age-Related Macular Degeneration.	Nishiguchi KM	眼科学
91	Ophthalmic Research	Influence of preoperative intravitreal bevacizumab in visual function for proliferative diabetic retinopathy eyes.	Ushida H	眼科学
92	Eye	Visual function 5 years or more after macular translocation surgery for myopic choroidal neovascularisation and age-related macular degeneration.	Takeuchi K	眼科学
93	Mol Ther.	Short-interfering RNAs induce retinal degeneration via TLR3 and IRF3.	Kleinman ME, Kaneko H	眼科学
94	Retina	Choroid is Thinner in inferior region of optic discs of normal eyes.	Tanabe H	眼科学
95	Retina	Axial length increases and related changes in highly myopic normal eyes with myopic complications in fellow eyes.	Takahashi A	眼科学
96	Jpn J Ophthalmol	Correlation between cross-sectional shape of choroidal veins and choroidal thickness.	Tanabe H	眼科学
97	J Comp Neurol	Retinal remodeling in the Tg P347L rabbit, a large-eye model of retinal degeneration.	Jones BW, Kondo M	眼科学
98	Invest Ophthalmol Vis Sci	Enhancement of ON-bipolar cell responses of cone electroretinograms in rabbits with the Pro347Leu rhodopsin mutation.	Nishimura T	眼科学
99	Invest Ophthalmol Vis Sci	Significant correlation between electroretinogram parameters and ocular vascular endothelial growth factor concentration in central retinal vein occlusion eyes.	Yasuda S	眼科学
100	Retina	Rebound of macular edema after intravitreal bevacizumab therapy in eyes with macular edema secondary to branch retinal vein	Yasuda S	眼科学
101	Invest Ophthalmol Vis Sci	Suppression of choroidal neovascularization and quantitative and qualitative inhibition of VEGF and CCL2 by heparin.	Tomida D	眼科学

102	Retina	Changes in the area of capillary nonperfusion after intravitreal injection of bevacizumab in eyes with branch retinal vein occlusion.	Terui T	眼科学
103	PLoS One	Identification of autoantibodies against TRPM1 in patients with paraneoplastic retinopathy associated with ON bipolar cell dysfunction.	Kondo M	眼科学
104	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol	Focal macular electroretinograms after photodynamic therapy combined with intravitreal bevacizumab.	Ishikawa K	眼科学
105	Invest Ophthalmol Vis Sci	The roles of vitreal macrophages and circulating leukocytes in retinal neovascularization.	Kataoka K	眼科学
106	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol	Orbital venous hemangioma.	Kubota T	眼科学
107	J AAPOS	Surgical correction of caruncular distortion after medial rectus resection.	Fukui M	眼科学
108	Auris Nasus Larynx.	A perspective from magnetic resonance imaging findings of the inner ear: Relationships among cerebrospinal, ocular and inner ear fluids.	Nakashima T	眼科学
109	American Journal of Medical Genetics	Spondylometaphyseal dysplasia with cone-rod dystrophy.	Kitoh H	眼科学
110	J Neurosci	Blimp1 suppresses Chx10 expression in differentiating retinal photoreceptor precursors to ensure proper photoreceptor development.	Katoh K	眼科学
111	眼科臨床紀要	シヌトミー併用トラベクロトミーの中期成績—手術部位の影響	水野友広	眼科学
112	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	Association analysis of the GDNF gene with methamphetamine use disorder in a Japanese population	尾崎紀夫	精神科
113	Curr Neuropharmacol	Association study of serine racemase gene with methamphetamine psychosis	尾崎紀夫	精神科
114	Curr Neuropharmacol	Association Between 5HT1b Receptor Gene and Methamphetamine Dependence	尾崎紀夫	精神科
115	Curr Neuropharmacol	No Association Between GRM3 and Japanese Methamphetamine-Induced Psychosis	尾崎紀夫	精神科
116	Psychogeriatrics	Presenile dementia diagnosed as posterior cortical atrophy	尾崎紀夫	精神科
117	Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	Association of ANK3 with bipolar disorder confirmed in East Asia	尾崎紀夫	精神科
118	Biol Psychiatry	Loss of Function Studies in Mice and Genetic Association Link Receptor Protein Tyrosine Phosphatase alpha to Schizophrenia	尾崎紀夫	精神科
119	Brain Res	Impairment of the tyrosine hydroxylase neuronal network in the orbitofrontal cortex of a genetically modified mouse model of	尾崎紀夫	精神科
120	Curr Neuropharmacol	Genetic Association Analysis of NOS1 and Methamphetamine-Induced Psychosis Among Japanese	尾崎紀夫	精神科
121	Curr Neuropharmacol	Genetic Association Analysis of NOS3 and Methamphetamine-Induced Psychosis Among Japanese	尾崎紀夫	精神科
122	Curr Neuropharmacol	Association Study of Two Cannabinoid Receptor Genes, CNR1 and CNR2, with Methamphetamine Dependence	尾崎紀夫	精神科
123	Curr Neuropharmacol	Association between the Regulator of G-protein Signaling 9 Gene and Patients with Methamphetamine Use Disorder and	尾崎紀夫	精神科
124	J Affect Disord	Depression associated with alcohol intake and younger age in Japanese office workers: a case-control and a cohort study	尾崎紀夫	精神科

125	Int J Neuropsychopharmacol	Vulnerability in early life to changes in the rearing environment plays a crucial role in the aetiopathology of psychiatric disorders	尾崎紀夫	精神科
126	Stress	Long-lasting effects of inescapable-predator stress on brain tryptophan metabolism and the behavior of juvenile mice	尾崎紀夫	精神科
127	Curr Neuropharmacol	Association analysis of the adenosine A1 receptor gene polymorphisms in patients with methamphetamine dependence/psychosis	尾崎紀夫	精神科
128	Curr Neuropharmacol	Association analysis of the tryptophan hydroxylase 2 gene polymorphisms in patients with methamphetamine dependence/psychosis	尾崎紀夫	精神科
129	Chronobiol Int	The CLOCK Gene and Mood Disorders: A Case-Control Study and Meta-analysis	尾崎紀夫	精神科
130	Psychiatry Res	Serotonin 1A receptor gene, schizophrenia and bipolar disorder: An association study and meta-analysis	尾崎紀夫	精神科
131	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	Lack of association between translin-associated factor X gene (TSNAX) and methamphetamine dependence in the Japanese population	尾崎紀夫	精神科
132	Curr Neuropharmacol	Lack of association between prokineticin 2 gene and Japanese methamphetamine dependence	尾崎紀夫	精神科
133	Curr Neuropharmacol	Association Analysis of Nuclear Receptor Rev-erb Alpha Gene (NR1D1) and Japanese Methamphetamine Dependence	尾崎紀夫	精神科
134	Drug Alcohol Depend	Serotonin 6 receptor gene is associated with methamphetamine-induced psychosis in a Japanese population	尾崎紀夫	精神科
135	Genes Brain Behav	SIRT1 gene, schizophrenia and bipolar disorder in the Japanese population: an association study	尾崎紀夫	精神科
136	Hum Psychopharmacol	Reliability and validity of a new sexual function questionnaire (Nagoya Sexual Function Questionnaire) for schizophrenic patients taking antipsychotics	尾崎紀夫	精神科
137	J Psychosom Res	Prospective study of maternal depressive symptomatology among Japanese women	尾崎紀夫	精神科
138	Biol Psychiatry	Genome-wide association study of schizophrenia in a Japanese population	尾崎紀夫	精神科
139	Psychiatry Clin Neurosci	Necessity for ethical consideration of research in the aftermath of disaster	尾崎紀夫	精神科
140	J Obstet Gynaecol Res	Maternal mental disorders and pregnancy outcomes: A clinical study in a Japanese population	尾崎紀夫	精神科
141	Neuropsychopharmacology	Variants of the RELA gene are associated with schizophrenia and their startle responses	尾崎紀夫	精神科
142	Schizophr Res	No association between the PCM1 gene and schizophrenia: A multi-center case-control study and a meta-analysis	尾崎紀夫	精神科
143	J Neurol Sci	Clinicopathological study of diffuse neurofibrillary tangles with calcification With special reference to TDP-43 proteinopathy and	尾崎紀夫	精神科
144	J Affect Disord	Possible association between ubiquitin-specific peptidase 46 gene and major depressive disorders in the Japanese population	尾崎紀夫	精神科
145	PLoS One	DNA methylation profiles of the brain-derived neurotrophic factor (BDNF) gene as a potent diagnostic biomarker in major depression	尾崎紀夫	精神科
146	Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	Positive association of Phencyclidine-responsive genes, PDE4A and PLAT, with	尾崎紀夫	精神科

147	PLoS One	A case control association study and cognitive function analysis of neuropilin and toll-like 1 gene and schizophrenia in the Japanese population	尾崎紀夫	精神科
148	J Infect Dis	Immunologic and virologic analyses in pediatric liver transplant recipients with chronic high Epstein-Barr virus loads.	Gotoh K	小児科
149	Pediatr Transplant	Effectiveness and safety of inactivated influenza vaccination in pediatric liver transplant recipients over three influenza seasons.	Gotoh K	小児科
150	J General Virology	Identification of Epstein-Barr virus-infected CD27+ memory B-cells in liver or stem cell transplant patients.	Ito Y	小児科
151	Int J Hematol. 93(2): 186-191, 2011年2月	Excellent outcomes of children with CML treated with imatinib mesylate compared to that in pre-imatinib era.	小島勢二、高橋義行、濱麻人、嶋田明、村松秀城	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座(小児科学)
152	Int J Hematol. 93(6): 832-837, 2011年6月	The Third Consensus Conference on the treatment of aplastic anemia.	小島勢二	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座(小児科学)
153	J Infect Chemother. 17(1): 111-113, 2011年2月	Recurrent vascular catheter-related bacteremia caused by Delftia acidovorans with different antimicrobial susceptibility profiles.	小島勢二	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座(小児科学)
154	Pediatr Blood Cancer. [Epub ahead of print], 2011年	Mutations profile of polycythemia vera and essential thrombocythemia among Japanese children.	Ismael O, Shimada A, Hama A, Kojima S.	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座(小児科学)
155	Pediatr Transplant. 15(6): 642-649, 2011年9月	Total body irradiation and melphalan as a conditioning regimen for children with hematological malignancies undergoing transplantation with stem cells from HLA-identical related donors.	小島勢二、高橋義行、濱麻人、村松秀城	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座(小児科学)
156	血液専門医テキスト pp181-184, 2011	小児特発性再生不良性貧血	小島勢二、他	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座(小児科学)
157	最新医学別冊 新しい診断と治療のABC72 血液8 pp228, 2011	再生不良性貧血	小澤敬也、小島勢二、他	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座(小児科学)
158	難治性貧血の診療ガイド pp195-236, 2011	先天性骨髄不全症候群	小島勢二、他	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座(小児科学)
159	Brain Dev. 34(1): 13-9, 2012.1	Acute encephalopathy with 2009 pandemic flu: comparison with seasonal flu.	Natsume J.	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座(小児科学)
160	現代医学 59: 69-74, 2011	熱性けいれん:熱性けいれん重積と側頭葉てんかんについて	夏目淳	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座(小児科学)
161	小児科診療 37: 897-901, 2011	熱性けいれんと側頭葉てんかん	夏目淳	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座(小児科学)



162	小児内科 43: 310-313, 2011	けいれん重積への救急対応 検体検査の選択と解釈	夏目淳	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
163	Pediatr Res 70(1): 21-24, 2011年	Carbohydrate and energy metabolism in the brain of rats with thromboxane A2-induced fetal growth restriction	Hayakawa, M. Sato, Y. Ichinohashi, Y. Kojima, S.	健康社会医学 専攻 周産母子 医学
164	小児看護 34(11): 1420-1427, 2011年11月	【どこまでもやさしく!臨床に役立つ新生児の解剖・生理・生化学】神経系 神経の解剖・生理・生化学	早川昌弘	健康社会医学 専攻 周産母子 医学
165	産婦人科治療 102(4): 355-359, 2011年4月	【新生児医療の最前線 産婦人科医が知っておきたい新生児の新知识】新生児脳波 その基本と最新の知見	早川昌弘	健康社会医学 専攻 周産母子 医学
166	Cytokine 56: 180-187, 2011年8月	Increased levels of cytokines and high-mobility group box 1 are associated with the development of severe pneumonia, but not acute encephalopathy, in 2009 H1N1 influenza-infected children.	Ito Y, Torii T	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
167	Mod Rheumatol online journal DOI: 10.1007/s10165-011-0552-2, 2011年11月	Prospective monitoring of Epstein-Barr virus and other herpesviruses in patients with juvenile idiopathic arthritis treated with methotrexate and tocilizumab	Kawada J, Ito Y.	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
168	The Journal of general virology 92(11): 2590-2595, 2011年8月	Identification of Epstein-Barr virus-infected CD27+ memory B cells in patients after transplantation.	Ito Y, Kawabe S, Kojima S	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
169	Vaccine 29: Sep-87, 2011年4月	Immunogenicity of inactivated 2009 H1N1 influenza vaccine in pediatric liver transplant recipients.	Torii Y, Kimura H	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
170	今日の小児治療指針/医学書院 第15版, pp311, 2012年2月	単純ヘルペスウイルス感染症	伊藤嘉規.	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
171	今日の小児治療指針/医学書院 第15版, pp366, 2012年2月	感冒	伊藤嘉規.	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
172	小児科学レクチャー/総合医学社 1(2): 356-62, 2011年7月	単純ヘルペスウイルス	伊藤嘉規.	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
173	Rheumatology International. in press, 2011	Coronary arterial ectasia in a 2-year-old boy showing two symptoms of Kawasaki disease without manifesting fever.	加藤太一、沼口敦	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
174	Br J Haematol 156(3): 316-325, 2012年2月	Molecular lesions in childhood and adult acute megakaryoblastic leukemia 316-325, 2012.	Hama A, Muramatsu H, Takahashi Y, Kiyoi H, Naoe T, Kojima S,	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
175	Rinsho Ketsueki 52(8): 653-658, 2011年8月	Bone marrow findings of childhood aplastic anemia: analyses of 140 cases by central reviewers	Hama A, Muramatsu H, Takahashi Y, Kojima S,	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
176	血液内科/科学評論社 63(2): 157-165, 2011.8	小児骨髄不全の診断と治療のポイント	Hama A, Muramatsu H, Takahashi Y, Kiyoi H, Naoe T, Kojima S,	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)

177	Cancer Sci 103 (2): 375-381, 2012年2月	Antitumor activities of valproic acid on Epstein-Barr virus-associated T and natural killer lymphoma cells.	伊藤嘉規 川田潤 一	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
178	Int J Cancer 129 (9): 2263-2273, 2011年11月	Bortezomib induces apoptosis in T lymphoma cells and natural killer lymphoma cells independent of epstein-barr virus infection	伊藤嘉規 川田潤 一	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
179	周産期医学 41(11): 1531-1536, 2011年11月	周産期脳障害に対する幹細胞療法	佐藤義朗	総合周産期母 子医療センター 新生児部門
180	脳と発達 43(3): 33-37, 2011年5月	中枢神経疾患に対する幹細胞療法	佐藤義朗 一ノ橋祐子 早川昌弘	総合周産期母 子医療センター 新生児部門
181	Int J Hematol. 93(6): 779-781, 2011年6月	CD20-negative Epstein-Barr virus-associated post-transplant lymphoproliferative disease refractory to rituximab in a patient with severe aplastic anemia.	村松秀城 高橋義行 伊藤嘉規 濱麻人 嶋田明 小島勢二	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
182	Semin Oncol 39: 67-73, 2012年2月	Chronic myelomonocytic leukemia and atypical chronic myeloid leukemia: novel pathogenetic lesions.	Muramatsu H, Makishima H, Maciejewski JP.	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(小 児科学)
183	周産期医学 41増刊号: 633-634, 2011年12月	新生児神経疾患の症状と診断	伊藤美春、早川昌 弘	健康社会医学 専攻 周産母子 医学
184	Annual review 2011 血液 pp109-115, 2011年1月	骨髄移植後再発白血病における6番染色体 Uniparental disomy (UPD)によるHLA欠失とその意義、	高橋義行	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(成 長発達医学)
185	小児がん診療ハンドブック pp43-251, 2011年8月	第3章[5]免疫・細胞療法	高橋義行	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(成 長発達医学)
186	Pharma Medica 29(5): 33-37, 2011年5月	神経芽腫に対する移植療法:特集 神経芽腫	高橋義行	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(成 長発達医学)
187	最新医学別冊 新しい診 断と治療のABC72/血液 8 再生不良性貧血, pp198-206, 2011年12月	先天性角化不全症 第6章 先天性再生不良性貧血	高橋義行、西尾信 博、小島勢二	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(成 長発達医学)
188	医学のあゆみ 240(5): 418-422, 2012年2月	疾患別に見た造血細胞移植の最新動向:小児進行期神経芽腫	高橋義行	健康社会医学 専攻 発育・加 齢医学講座(成 長発達医学)
189	Int J Dermatol	DNA-based prenatal diagnosis of plectin-deficient epidermolysis bullosa simplex associated with pyloric atresia.	Akiyama M	皮膚病態学
190	J Am Acad Dermatol	Extremely severe palmoplantar hyperkeratosis in a generalized epidermolytic hyperkeratosis patient with a keratin 1 gene mutation.	Akiyama M	皮膚病態学
191	Br J Dermatol	Malignant skin tumours in patients with inherited ichthyosis.	Akiyama M	皮膚病態学
192	J Dermatol Sci	Altered lipid profiles in the stratum corneum of Sjögren-Larsson syndrome.	Akiyama M	皮膚病態学

193	Acta Derm Venereol	Hair shaft abnormalities in localized autosomal recessive hypotrichosis 2 and a review of other non-syndromic human alopecias.	Akiyama M	皮膚病態学
194	J Invest Dermatol	Consequences of two different amino-acid substitutions at the same codon in KRT14 indicate definitive roles of structural distortion in epidermolysis bullosa simplex pathogenesis.	Akiyama M	皮膚病態学
195	J Invest Dermatol	AKT has an anti-apoptotic role in ABCA12-deficient keratinocytes.	Akiyama M	皮膚病態学
196	Br J Dermatol	Novel adenosine triphosphate (ATP)-binding cassette, subfamily A, member 12 (ABCA12) mutations associated with congenital ichthyosiform erythroderma.	Akiyama M	皮膚病態学
197	Br J Dermatol	Possible modifier effects of keratin 17 gene mutation on keratitis-ichthyosis-deafness syndrome.	Akiyama M	皮膚病態学
198	J Am Acad Dermatol	Detection of Merkel cell polyomavirus in cutaneous squamous cell carcinoma before occurrence of Merkel cell carcinoma.	Yokota K	皮膚病態学
199	Arthritis Res Ther	Epidemiologic study of clinically amyopathic dermatomyositis and anti-melanoma differentiation-associated gene 5 antibodies in central Japan.	Muro Y	皮膚結合組織病態学
200	Expert Rev. Med. Devices	Safe use of ultrasonically activated devices based on current studies	T.Ogawa, R.Hattori, Y.Yamamoto,	泌尿器科
201	Urology	The responsiveness and minimal clinically important change of the overactive bladder symptom score	M.Gotoh, Y.Homma, O.Yokoyama,	泌尿器科
202	Int.J.Urol.	Propiverine hydrochloride in Japanese patients with overactive bladder: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial	M.Gotoh, O.Yokoyama, O.Nishizawa	泌尿器科
203	Nephrol Dial Transplant.	Renal cell carcinomas in haemodialysis patients: does hemodialysis duration influence pathological cell types and prognosis ?	N.Sassa, R.Hattori, T.Tsuzuki, Y.Watarai, A.Fukatsu, S.Katsuno, T.Nishikimi,	泌尿器科
204	Int.J.Urol.	Editorial comments on "mercaptoacetyltriglycine-3 renogram is not superior to estimated glomerular filtration rate measurement for the prediction of long-term	Y.Funahashi	泌尿器科
205	Urology	Relationship between renal parenchymal volume and single kidney glomerular filtration rate before and after unilateral nephrectomy	Y.Funahashi, R.Hattori, T.Yamamoto, O.Kamihira, N.Sassa, M.Gotoh	泌尿器科
206	World J.Urol.	Clinical efficacy of a loading dose of naftopidil for patients with benign prostate hyperplasia	Y.Funahashi, R.Hattori, Y.Matsukawa, T.Komatsu, N.Sassa, M.Gotoh	泌尿器科
207	LUTS	Symptoms predictive for efficacy of naftopidil in patients with benign prostate hyperplasia	Y.Funahashi, R.Hattori, Y.Yoshino, Y.Matsukawa, N.Sassa, M.Gotoh	泌尿器科

208	Int.J.Urol.	Renal parenchymal volume increases after contralateral nephrectomy: assessment using three-dimensional ultrasonography	Y.Funahashi, R.Hattori, T.Yamamoto, S.Aoki, T.Majima, M.Gotoh	泌尿器科
209	Urology	Effect of warm ischemia on renal function during partial nephrectomy: assessment with new <sup>99m</sup> Tc-mercaptoacetyltriglycine scintigraphy parameter	Y.Funahashi, R.Hattori, T.Yamamoto, N.Sassa, T.Fujita, M.Gotoh	泌尿器科
210	Acta Otolaryngol	Contrast enhancement of the inner ear after intravenous administration of a standard or double dose of gadolinium contrast agents	Suzuki H, Teranishi M, Sone M, Yamazaki M, Naganawa S, Nakashima T	耳鼻いんこう科
211	Acta Otolaryngol	Endolymphatic hydrops and blood-labyrinth barrier in Meniere's disease	Tagaya M, Yamazaki M, Teranishi M, Naganawa S	耳鼻いんこう科
212	Magn Reson Med Sci.	Anatomical Details of the Brainstem and Cranial Nerves Visualized by High Resolution Readout-segmented Multi-shot Echo-planar Diffusion-weighted Images using Unidirectional MPG at 3T.	NAGANAWA SHINJI	放射線科
213	Eur J Radiol.	Correlation between dual-phase dynamic multi-detector CT findings and fibrosis within lung adenocarcinoma tumors.	IWANO SHINGO	放射線科
214	Nagoya J Med Sci.	Early prediction of response to neoadjuvant chemotherapy for locally advanced breast cancer using MRI.	KAWAMURA MARIKO	放射線科
215	AJR Am J Roentgenol.	Diffusion-weighted imaging of breast masses: comparison of diagnostic performance using various apparent diffusion coefficient	HIRANO MAKI	放射線科
216	J Magn Reson Imaging .	(1) H-magnetic resonance spectroscopy of the breast at 3.0-T: Comparison of results obtained before and after administration of gadolinium-based contrast agent.	KAWAI HISASHI	放射線科
217	J Thorac Imaging.	3D-CT Lung Volumetry Using Multidetector Row Computed Tomography:Pulmonary Function of Each Anatomic Lobe.	MATSUO KEIJI	放射線科
218	Tissue Eng Part A.	Dental pulp-derived CD31 <sup>+</sup> /CD146 <sup>+</sup> side population stem/progenitor cells enhance recovery of focal cerebral ischemia in rats.	Sugiyama Masahiko	歯科口腔外科
219	Head Neck.	Inverse association between toothbrushing and upper aerodigestive tract cancer risk in a Japanese population.	Sato Fumihito	歯科口腔外科
220	Cytotherapy.	Stem cells from human exfoliated deciduous teeth (SHED) enhance wound healing and the possibility of novel cell therapy.  Nishino Y, Yamada Y, Ebisawa K, Nakamura S, Okabe K, Umemura E, Hara K, Ueda M.  Cytotherapy.	Nishino Yudai	歯科口腔外科
221	J Craniofac Surg.	Human deciduous teeth dental pulp cells with basic fibroblast growth factor enhance wound healing of skin defect.	Nishino Yudai	歯科口腔外科
222	Tissue Eng Part C Methods.	Viable cryopreserving tissue-engineered cell-biomaterial for cell banking therapy in an effective cryoprotectant.	Umemura Eri	歯科口腔外科

223	J Biol Chem.	Functional activation of Src family kinase yes protein is essential for the enhanced malignant properties of human melanoma cells expressing ganglioside GD3.	Hamamura Kazunori	齒科口腔外科
224	Oncol Rep.	Optimization of hyperthermia and dendritic cell immunotherapy for squamous cell carcinoma.	Matsumoto Koshi	齒科口腔外科
225	Tissue Eng Part C Methods.	Viable cryopreserving tissue-engineered cell-biomaterial for cell banking therapy in an effective cryoprotectant.	Umemura Eri	齒科口腔外科
226	Ann Biomed Eng.	Osteogenic induction of bone marrow-derived stromal cells on simvastatin-releasing, biodegradable, nano- to microscale fiber scaffolds.	Wadagaki Ryu	齒科口腔外科
227	Implant Dent.	An experimental study of bone healing around the titanium screw implants in ovariectomized rats: enhancement of bone healing by bone marrow stromal cells transplantation.	Okamoto Yasuhiro	齒科口腔外科
228	Bone.	Stromal cell-derived factor-1 enhances distraction osteogenesis-mediated skeletal tissue regeneration through the recruitment of endothelial precursors.	Fujio Masato	齒科口腔外科
229	Int J Periodontics Restorative Dent.	Bone regeneration with self-assembling peptide nanofiber scaffolds in tissue engineering for osseointegration of dental implants.	Kohgo Tomoyuki,	齒科口腔外科
230	Int J Oral Maxillofac Implants.	Osteogenic potential of effective bone engineering using dental pulp stem cells, bone marrow stem cells, and periosteal cells for osseointegration of dental implants.	Ito Kenji	齒科口腔外科
231	J Endod	Potential characteristics of stem cells from human exfoliated deciduous teeth compared with bone marrow-derived mesenchymal stem cells for mineralized tissue-forming cell biology.	Hara Kenji	齒科口腔外科
232	J Clin Invest.	Human dental pulp-derived stem cells promote locomotor recovery after complete transection of the rat spinal cord by multiple neuro-regenerative mechanisms.	Sakai Kiyoshi	齒科口腔外科
233	Clin Oral Implants Res.	Osteotome technique with injectable tissue-engineered bone and simultaneous implant placement by cell therapy.	Yamada Yoichi	齒科口腔外科
234	Neuroradiology (2011) 53:16	Evaluation of the characteristics of various types of coils for the embolization of intracranial aneurysms with an optical pressure sensor system	Noriaki Matsubara, Shigeru Miyachi, Yoshitaka Nagano, Tomotaka Ohshima, Osamu Hososhima, Takashi Izumi, Akihito Tsurumi, Toshihiko Wakabayashi, Akihito Sano, Hideo Fujimoto	脳神経外科
235	World Neurosurg (2011) 75: 503-508	Selective propofol injection into the M1 segment of the middle cerebral artery (MCA Wada test) reduces adverse effects and enhances the reliability of the Wada test for determining speech dominance	Fujii M, Miyachi S, Matsubara N, Kinkori T, Takebayashi S, Izumi T, Ohshima T, Tsurumi A, Hososhima O, Wakabayashi T, Yoshida J	脳神経外科

236	Neurosurgery (2011) 69: E1005-1008	Fenestration of a supraclinoid internal carotid artery associated with dual aneurysms: case report	Ichikawa T, Miyachi S, Izumi T, Matsubara N, Naito T, Haraguchi K, Wakabayashi T, Koketsu N	脳神経外科
237	JNET (2011) 5: 173-176	内頸動脈瘤に対する母血管閉塞中に離脱型コイルの近位端に直線化現象を呈した1例:症例報告	泉孝嗣, 宮地茂, 松原功明, 内藤文裕, 原口健一, 若林俊彦	脳神経外科
238	Brain Tumor Pathol.	Glioma-initiating cells and molecular pathology: Implications for therapy	夏目敦至	脳神経外科
239	Neurol Med Chir (Tokyo)	Efficacy of motor cortex stimulation for intractable central neuropathic pain. Comparison of stimulation parameters between post-stroke pain and other central pain	種井隆文	脳神経外科
240	Acta Neurochir (Wien)	Endovascular coil embolization for saccular-shaped blood blister-like aneurysms of the internal carotid artery	松原弘明	脳神経外科
241	Radiol Phys Technol	Skin shift and its effect on navigation accuracy in image-guided neurosurgery	藤井正純	脳神経外科
242	J Neurooncol	A multicenter phase I trial of combination therapy with interferon-beta and temozolomide for high-grade gliomas (INTEGRA study): the	若林俊彦	脳神経外科
243	Clin Neurol Neurosurg	A novel monoshaft bipolar cautery for use in endoscopic intracranial surgery	長坂 暢	脳神経外科
244	Cancer	Benefits of interferon-beta and temozolomide combination therapy for newly diagnosed primary glioblastoma with the unmethylated MGMT promoter: A multicenter study.	本村和也	脳神経外科
245	Neurosurg Rev	Cytokine networks in glioma	岩味健一郎	脳神経外科
246	Leukemia and Lymphoma	Long-term survival in patients with newly diagnosed primary central nervous system lymphoma treated with dexamethasone, etoposide, ifosfamide and carboplatin chemotherapy and whole-brain radiation therapy	本村和也	脳神経外科
247	PLoS One	The global DNA methylation surrogate LINE-1 methylation is correlated with MGMT promoter methylation and is a better prognostic factor for glioma	大岡史治	脳神経外科
248	J Neurosurg	A novel method of intracranial injection via the postglenoid foramen for brain tumor mouse	岩味健一郎	脳神経外科
249	Carcinogenesis	Epigenetic subclassification of meningiomas based on genome-wide DNA methylation	岸田悠吾	脳神経外科
250	Oncogene	Girdin maintains the stemness of glioblastoma stem cells.	夏目敦至	脳神経外科
251	J Neurooncol	Intravenous administration of temozolomide as a useful alternative over oral treatment with temozolomide capsules in patients with gliomas.	本村和也	脳神経外科
252	Chemotherapy	Peptide-pulsed dendritic cell vaccination targeting interleukin-13 receptor alpha 2 chain in recurrent malignant glioma patients with HLA-A*24/a*02 allele.	岩味健一郎	脳神経外科
253	Acta Neurochir (Wien)	Magnetic resonance fluid dynamics for intracranial aneurysms-comparison with computed fluid dynamics	内藤文裕	脳神経外科
254	Tumor Biol	Correlation between quantified promoter methylation and enzymatic activity of O(6)-methylguanine-DNA methyltransferase in glioblastomas.	岸田悠吾	脳神経外科

255	Cancer Science	Immunohistochemical analysis-based proteomic subclassification of newly diagnosed	本村和也	脳神経外科
256	Ann Plast Surg	Free calvarial periosteum graft vascularized by an omental flap in a rat model.	Nakazato K.,	形成外科
257	Plast Reconstr Surg.	A new technique for abdominal closure in obese patients.	Yagi S,	形成外科
258	日本マイクロサージャリー学会会誌	大網を利用した顔面神経再建	八木俊路朗	形成外科
259	PEPARS	【胸壁・腹壁欠損の再建】大網を用いた縦隔洞炎の治療	亀井譲	形成外科
260	創傷	内視鏡を用いた組織採取	鳥山和宏	形成外科
261	日本マイクロサージャリー学会会誌	加温処理骨と遊離腓骨皮弁併用による下肢再建の長期経過観察	神山圭史	形成外科
262	PEPARS	舌・中咽頭再建における皮弁のデザインの工夫	八木俊路朗	形成外科
263	治療	自家培養線維芽細胞によるアンチエイジング	蛭沢克己	形成外科
264	標準小児外科学 第6版	肝・胆・膵	安藤久實	小児外科
265	J Hepatobiliary Pancreat Sci	Biliary reconstruction with wide-interval interrupted suture to prevent biliary complications in pediatric living-donor liver	Ando H	小児外科
266	J Pediatr Gastroenterol Nut	Gene expression profiling reveals upregulated UCA1 and BMF in gallbladder epithelia of children with pancreaticobiliary maljunction.	Kaneko K	小児外科
267	胆道	先天性胆道拡張症・膵胆管合流異常の発生論	安藤久實	小児外科
268	Lab Invest	Pitavastatin-induced angiogenesis and arteriogenesis is mediated by Notch1 in a murine hindlimb ischemia model without induction of VEGF.	菊地 良介	検査部
269	Haematologica.	Cytotoxic molecule-positive classical Hodgkin's lymphoma: a clinicopathological comparison with cytotoxic molecule-positive peripheral T-cell lymphoma of not otherwise specified type.	浅野 直子	検査部
270	Mov Disord.	Does cardiovascular autonomic dysfunction contribute to fatigue in Parkinson's disease?	中村 友彦	検査部

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 松尾 清一
管理担当者氏名	副病院長 石黒 直樹 医療の質・安全管理部長 長尾 能雅 薬剤部長 山田 清文 総務課長 曾谷 祐一 医事課長 仲井 精一

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院治療計画書		中央管理  薬剤部  総務課	疾病分類 ICD-10  管理形態 外来カルテ・入院カルテ 1患者1電子カルテで中央管理(一部紙媒体にて保存)
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者を明らかにする帳簿	総務課	
	高度医療の提供の実績	医事課	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課・医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部	
	規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療の質・安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療の質・安全管理部	
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療の質・安全管理部		
当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療の質・安全管理部		



		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11第1項各号及び第9条の2第3第1項第1号に掲げる体制の確保状況		
	院内感染のための指針の策定状況	医療の質・安全管理部	
	院内感染のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部	
	従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療の質・安全管理部	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学技術部	
	従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学技術部	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学技術部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学技術部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 塩崎 英司
閲覧担当者氏名	総務課長 曾谷 祐一
	医事課長 仲井 精一
	医療サービス課長 中西 達公
閲覧の求めに応じる場所	総務課(中央診療棟7階)
	医事課(外来診療棟)
	医療サービス課(中央診療棟4階)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹介率	71.0%	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数	17,451人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,043人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	3,130人	
	D : 初診の患者の数	32,291人	

- (注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

## 規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・指針の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全管理に対する基本的な考え方</li> <li>・医療事故防止に対する基本的な姿勢と組織体制</li> <li>・医療の安全に関する職員計画</li> <li>・医療事故の定義と医療事故発生時の報告・対応指針</li> <li>・指針の閲覧に関する基本方針</li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 15 回
<p>・活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故の防止及び医療安全推進に関する事項</li> <li>・医療事故紛争事例に関する事項</li> <li>・医療の質向上に関する事項</li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 21 回 ※
<p>・研修の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員を対象とした医療安全研修「ノンテクニカルスキルについて」「報告を標準化する」などの研修を実施</li> <li>・新規・中途採用職員について、採用時に「名大病院の理念・目標」「救急外来勤務」「インシデントレポートシステム」等の医療安全研修を実施</li> </ul> <p>※実際に会場にて実施した回数(昨年度との回数の差は、DVDを貸出した件数を含めていないため。)</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部門とのインシデント検討会にて報告事例を審議し、改善に結びつける</li> <li>・重大事故に関しては外部委員主導の事故調査委員会などを開催し、そこで得られた分析結果や提言を踏まえ、再発防止に結びつける</li> </ul>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(4名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(5名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・所属職員：専任(4)名 兼任(14)名</p> <p>・活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治療中の不測のトラブル等に対し、病院全体で対応できる治療体制の構築</li> <li>・全部門からのインシデント情報の集積と分析、事故予防策の検討</li> <li>・医療事故等に対する第三者による客観的事例調査、原因究明と再発防止策の指導</li> <li>・院内の各種安全マニュアル、標準対応指針などの策定、各部門との連携</li> <li>・院内研修、学生教育による安全意識の高い医療者の育成と、安全文化の醸成</li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

## 院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 ・院内感染対策に関する基本的な考え方 ・院内感染対策のための委員会と組織 ・院内感染対策のための従業者に対する研修に関する事項 ・感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・院内感染発生時の対応に関する基本方針	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容 ・院内感染の予防及び対策等に関する事項 ・患者の取り扱いに関する事項 ・医療従事者への感染予防に関する事項 ・その他、院内感染及び難治感染症対策に関する事項	
③ 従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	年 25 回 ※
・研修の主な内容 ・全職員を対象とした「血液曝露と薬剤耐性菌対策」「感染管理について」などの研修等を実施 ・新規・中途採用職員について、採用時に「針刺し・血液曝露時の対応」等の感染対策研修を実施 ・清掃業務、廃棄物運搬・収集業務従事者を対象に「感染対策研修」を実施  ※実際に会場にて実施した回数(昨年度との回数の差は、DVDを貸出した件数を含めていないため。)	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	
・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無  ・その他の改善のための方策の主な内容 ・全病棟と外来、部門を対象に環境チェックを中心としたICTラウンドの実施 ・MRSA新規検出症例数の独自介入基準を設け、基準に合致した部署に対して手指衛生観察巡回などを実施し、感染対策の強化を図っている ・NICU、MICUとの定期的なミーティング ・抗菌薬適正使用の推進を目的とした薬剤部とのミーティング	

## 医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>全職員を対象とした医薬品の安全使用に係る研修を年2回実施した(最近実施した内容「医療用麻薬の管理」、「糖尿病治療薬とリスクについて」)。          その他、新任看護師を対象とした研修を年2回実施した(「医薬品の安全使用のために」、「予薬に注意を要する重要薬剤に関する基本的知識」)。</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	年 随 時
<p>・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・業務の主な内容 以下の医薬品の安全使用のための業務手順書に基づく。</p> <p>(医薬品の採用・購入に関する事項、管理に関する事項、投薬指示から調剤に関する事項、予薬や服薬指導に関する事項、安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項、ハイリスク薬剤の取り扱い、他施設との連携に関する事項、業務手順書に基づく業務の遂行に関する事項)</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>院内で収集されたインシデント報告等から業務または手順書を見直している。          医薬品に係る新たな情報を薬事委員会で審議し、かつ必要に応じ薬品情報室からメール、お知らせ、薬剤部のホームページ、電子カルテ等を利用して随時発信している。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 ・活動の主な内容  新規導入機器時の取扱説明、また新卒者に対する初期オリエンテーションや各部門での定期的な勉強会や取扱説明。	年 随 時 回
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 ・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・保守点検の主な内容 MEでの電氣的安全装置を用いての定期点検、また定期的に実施が必要なパーツについてはメーカーにて実施。	年 1 回
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 ・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 PMDAからの情報収集やメーカーからの情報に対して、部内および関連部署での情報共有と対応。	